

(様式第10)

奈医病管 第109 号

厚生労働大臣 殿

令和 6年 10月 2日  
開設者名 公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長 細井 裕司

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地
氏名	公立大学法人奈良県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

奈良県立医科大学附属病院
--------------

3 所在の場所

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地
電話(0744)22-3051

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="checkbox"/>	1呼吸器内科	<input type="checkbox"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="checkbox"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="checkbox"/>	7内分泌内科	<input type="checkbox"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="checkbox"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11リウマチ科

診療実績

「呼吸器内科」「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は呼吸器・アレルギー内科で、「消化器内科」「代謝内科」の診療内容は消化器・代謝内科で、「内分泌内科」の診療内容は糖尿病・内分泌内科で、「神経内科」の診療内容は脳神経内科で、「リウマチ科」の診療内容は整形外科・総合診療科で提供している。

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				無			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
「消化器外科」「乳腺外科」「小児外科」の診療内容は消化器外科・小児外科・乳腺外科で、「内分泌外科」の診療内容は耳鼻咽喉・頭頸部外科で提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				無			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
通常の歯科診療内容は歯科口腔外科で提供している。							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	消化器・代謝内科	2	呼吸器・アレルギー内科	3	脳神経内科	4	消化器外科・小児外科・乳腺外科	5	耳鼻咽喉・頭頸部外科
6	形成外科	7	病理診断科	8	リハビリテーション科	9	糖尿病・内分泌内科	10	腫瘍内科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
108	9	0	0	875	992

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	645	48.7	693.7
歯科医師	21	5.1	26.1
薬剤師	66	4.0774	70.077
保健師	1	2.2452	3.2452
助産師	65	1.7419	66.742
看護師	1,101	23.465	1124.5
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	11	4.1548	15.155

職種	員数
看護補助者	31
理学療法士	34
作業療法士	12
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	42
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	62

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	88
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	32	
その他の技術員	33	
事務職員	222	
その他の職員	0	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	65	眼科専門医	9
外科専門医	41	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	11	放射線科専門医	22
小児科専門医	27	脳神経外科専門医	16
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	35
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	27
産婦人科専門医	11	救急科専門医	11
		合計	307

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 吉川 公彦 ) 任年月日 令和 2 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	638 人	16 人	654 人
1日当たり平均外来患者数	2,262 人	115 人	2,377 人
1日当たり平均調剤数		4,389	剤
必要医師数		200	人
必要歯科医師数		9	人
必要薬剤師数		24	人
必要(准)看護師数		433	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	有
集中治療室	579.06 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数	24 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	263.6 ㎡	病床数	21 床	
	[移動式の場合]	台数				
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積		67.9 ㎡		
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	194.6 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	尿検査システム等		
細菌検査室	174.1 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析システム等		
病理検査室	176.7 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体搬送システム等		
病理解剖室	266.2 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動解剖ノコリーンカットシステム等		
研究室	1589 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	各種実験・研究装置等		
講義室	460.4 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員 317 人	
図書室	1303 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数 140,000 冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	97.4 %	逆紹介率	106 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,629 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	22,479 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	4,028 人	
	D: 初診の患者の数	21,209 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進室長であり、医療にかかる安全に関する見識を有するため。	無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験が豊富であり、法律に関する見識を有するため。	無	1
森下 順子	ボランティアグループ ラポール		病院の状況への理解が深く、医療を受ける側の立場からの客観的意見を得られるため。	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページでの公表	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 2023年度 提供実績なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	ペーチェット病	30
2	筋萎縮性側索硬化症	37	57	特発性拡張型心筋症	74
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	29
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	28	60	再生不良性貧血	34
6	パーキンソン病	279	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	9
8	ハンチントン病	8	63	特発性血小板減少性紫斑病	46
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	7	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	97	66	IgA腎症	150
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	63
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	114	68	黄色靱帯骨化症	15
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	20	69	後縦靱帯骨化症	59
15	封入体筋炎	11	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	72
17	多系統萎縮症	23	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	83	73	下垂体性TSH分泌亢進症	6
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	12
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	33	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	131
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	51	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	58
30	遠位型ミオパチー	6	85	特発性間質性肺炎	20
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	9
34	神経線維腫症	26	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	16	90	網膜色素変性症	15
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	18	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎	89
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	9
40	高安動脈炎	22	95	自己免疫性肝炎	26
41	巨細胞性動脈炎	23	96	クローン病	79
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	184
43	顕微鏡的多発血管炎	71	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	7	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	3
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	208	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	124	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	79	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	30	107	若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	52	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人発症スチル病	19	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	3	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	1
113	筋ジストロフィー	35	168	エーラス・ダンロス症候群	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	2
117	脊髄空洞症	1	172	低ホスファターゼ症	0
118	脊髄髄膜瘤	3	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	0	174	那須・ハコラ病	1
120	遺伝性ジストニア	0	175	ウィーバー症候群	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	177	ジュベール症候群関連疾患	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー病	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	5	182	アペール症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	2
137	限局性皮質異形成	1	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	194	ソトス症候群	0
140	ドラベ症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	3	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	3	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体体症候群	1	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	0	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	208	修正大血管転位症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209	完全大血管転位症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	1
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	212	三尖弁閉鎖症	0
158	結節性硬化症	7	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
160	先天性魚鱗癬	3	215	ファロー四徴症	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	216	両大血管右室起始症	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15	217	エプスタイン病	0
163	特発性後天性全身性無汗症	9	218	アルポート症候群	0
164	眼皮膚白皮症	3	219	ギャロウェイ・モワット症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	5

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
221 抗糸球体基底膜腎炎	6	276 軟骨無形成症	0
222 一次性ネフローゼ症候群	118	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	0
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
224 紫斑病性腎炎	10	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
225 先天性腎性尿崩症	2	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
227 オスラー病	6	282 先天性赤血球形形成異常性貧血	0
228 閉塞性細気管支炎	1	283 後天性赤芽球癆	3
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
230 肺胞低換気症候群	4	285 ファンconi貧血	0
231 $\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
232 カーニー複合	0	287 エプスタイン症候群	0
233 ウォルフラム症候群	0	288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	9
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	2
235 副甲状腺機能低下症	3	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	292 総排泄腔外反症	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	293 総排泄腔遺残	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
240 フェニルケトン尿症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
241 高チロシン血症1型	0	296 胆道閉鎖症	1
242 高チロシン血症2型	0	297 アラジール症候群	0
243 高チロシン血症3型	0	298 遺伝性膀胱炎	1
244 メーブルシロップ尿症	3	299 嚢胞性線維症	1
245 プロピオン酸血症	0	300 IgG4関連疾患	27
246 メチルマロン酸血症	0	301 黄斑ジストロフィー	3
247 イソ吉草酸血症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	303 アッシャー症候群	0
249 グルタル酸血症1型	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
250 グルタル酸血症2型	0	305 遅発性内リンパ水腫	0
251 尿素サイクル異常症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	23
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	307 カナバン病	0
253 先天性葉酸吸収不全	0	308 進行性白質脳症	0
254 ポルフィリン症	0	309 進行性ミオクローヌステんかん	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	310 先天異常症候群	1
256 筋型糖原病	0	311 先天性三尖弁狭窄症	0
257 肝型糖原病	1	312 先天性僧帽弁狭窄症	0
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	313 先天性肺静脈狭窄症	0
259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	314 左肺動脈右肺動脈起始症	0
260 シトステロール血症	0	315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0
261 タンジール病	0	316 カルニチン回路異常症	0
262 原発性高カイロミクロン血症	0	317 三頭酵素欠損症	0
263 脳髄黄色腫症	0	318 シトリン欠損症	0
264 無 $\beta$ リポタンパク血症	0	319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
265 脂肪萎縮症	0	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
266 家族性地中海熱	1	321 非ケト-シス型高グリシン血症	0
267 高IgD症候群	0	322 $\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
268 中條・西村症候群	1	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269 化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
270 慢性再発性多発性骨髄炎	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
271 強直性脊椎炎	12	326 大理石骨病	2
272 進行性骨化性線維異形成症	0	327 特異性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	328 前眼部形成異常	0
274 骨形成不全症	1	329 無虹彩症	0
275 タナトフォリック骨異形成症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
特定機能病院入院基本料	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療環境体制加算2	ハイリスク分娩管理加算
歯科診療特別対応連携加算	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
救急医療管理加算	術後疼痛管理チーム加算
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算1及び2
診療録管理体制加算2	データ提出加算2
医師事務作業補助体制加算2 30対1	入退院支援加算1(一般病棟)・3 地域連携診療計画加算、入院時支援加算、総合機能評価加算有
25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満) 看護補助体制充実加算有	認知症ケア加算1
看護職員夜間配置加算1 12対1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護補助加算3(D2病棟のみ) 看護補助体制充実加算有	精神疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算1
重症者等療養環境特別加算	排尿自立支援加算
無菌治療室管理加算1及び2	地域医療体制確保加算
放射線治療病室管理加算2	救命救急入院料3・4 算定上限日数、精神疾患診断治療初回加算、救急体制充実加算2、小児加算、早期離床・リハビリテーション加算有
緩和ケア診療加算	特定集中治療室管理料1 算定上限日数、小児加算、早期離床・リハビリテーション加算有
精神科応急入院施設管理加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
精神病棟入院時医学管理加算	総合周産期特定集中治療室管理料 成育連携支援加算有
精神科身体合併症管理加算	新生児治療回復室入院医療管理料
精神科リエゾンチーム加算	一類感染症患者入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	小児入院医療管理料1 プレイルーム加算、無菌治療管理加算1有
栄養サポートチーム加算	精神科救急急性期医療入院料 看護職員夜間配置加算、精神科救急医療体制加算1有
医療安全対策加算1	精神科救急・合併症入院料 看護職員夜間配置加算有
感染対策向上加算1 指導強化加算有	看護職員処遇改善評価料75
患者サポート体制充実加算	
重症患者初期支援充実加算	

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	医療機器安全管理料(歯科)
遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料)	精神科退院時共同指導料1、精神科退院時共同指導料2
糖尿病合併症管理料	歯科治療時医療管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	在宅患者訪問看護・指導料(緩和ケア・褥瘡ケア・人工肛門ケア及び人工膀胱ケア)
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ及びニ	遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
外来緩和ケア管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)、(造血幹細胞移植後)	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料	持続血糖測定器加算1及び2
小児運動器疾患指導管理料	遺伝学的検査
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	骨髄微小残存病変量測定
婦人科特定疾患治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査 1及び2
腎代替療法指導管理料	がんゲノムプロファイリング検査
下肢創傷処置管理料	先天性代謝異常症検査
外来放射線照射診療料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来腫瘍化学療法診療料1 連携充実加算	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
がん治療連携計画策定料	検体検査管理加算(Ⅰ)、検体検査管理加算(Ⅳ)
肝炎インターフェロン治療計画料	国際標準検査管理加算
外来排尿自立指導料	遺伝カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料1	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料2	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
こころの連携指導料(Ⅱ)	胎児心エコー法
薬剤管理指導料	ヘッドアップティルト試験
医療機器安全管理料1	人工臓器検査
医療機器安全管理料2	皮下連続式グルコース測定

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
長期継続頭蓋内脳波検査	小児鎮静下MRI撮影加算
長期脳波ビデオ同時記録検査1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
光トポグラフィー	外来化学療法加算1
終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	無菌製剤処理料
脳波検査判断料1	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
単線維筋電図	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
ロービジョン検査判断料	がん患者リハビリテーション料
小児食物アレルギー負荷検査	歯科口腔リハビリテーション料2
内服・点滴誘発試験	通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)
センチネルリンパ節生検(片側)	通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	通院・在宅精神療法(療養生活継続支援加算)
経気管支凍結生検法	救急患者精神科継続支援料
有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	認知療法・認知行動療法1
精密触覚機能検査	精神科作業療法
画像診断管理加算1	精神科ショート・ケア(大規模なもの)、(小規模なもの)
画像診断管理加算2	精神科デイ・ケア(大規模なもの)、(小規模なもの)
遠隔画像診断	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	医療保護入院等診療料
CT撮影及びMRI撮影	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
冠動脈CT撮影加算	硬膜外自家血注入
血流予備量比コンピューター断層撮影	エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)、エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
外傷全身CT加算	人工腎臓、導入期加算3、腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
心臓MRI撮影加算	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
乳房MRI撮影加算	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
人工臓器療法	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1・2	顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)
皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算算定する場合に限る。)	乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
皮膚移植術(死体)	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
自家脂肪注入	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
処理骨再建加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び直腸腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	内視鏡下筋層切開術
椎間板内酵素注入療法	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算を算定する場合に限る。)	腹腔鏡下弁形成術
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術)、(経皮的肺動脈弁置換術)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)、脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	腹腔鏡下弁置換術
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの及び経カ テーテル的手術によるもの)に限る。)
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
舌下神経電気刺激装置植込術	ペースメーカー移植術及び交換術、ペースメーカー移植術及 び交換術(リードレスペースメーカーによるもの)
角結膜悪性腫瘍切除術	両心室ペースメーカー移植術、 両心室ペースメーカー交換術
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び(水晶体再建術併 用眼内ドレーン挿入術)	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経 静脈電極抜去術
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペー シング機能付き植込型除細動器交換術
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工中耳植込術、人工内耳植込 術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡 下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	補助人工心臓
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	経皮的下肢動脈形成術
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)、(側方)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下仙骨腔固定術
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	腹腔鏡下仙骨腔固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	精巣内精子採取術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	輸血管管理料 I
内視鏡的小腸ポリープ切除術	貯血式自己血輸血管管理体制加算
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	自己生体組織接着剤作成術
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	同種クリオプレシピテート作製術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
同種死体腎移植術	麻酔管理料(I) 周術期薬剤管理加算
生体腎移植術	麻酔管理料(II) 周術期薬剤管理加算
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	放射線治療専任加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	外来放射線治療加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	高エネルギー放射線治療



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 前立腺針生検法 (MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね週1回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	14
	剖検率(%)	2

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	託元又は委託元
備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究	酒井 宏水	化学	73,280,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肝腎症候群の新たな病態解析と治療開発-血栓性微小血管障害に基づく機序と遺伝子組み換えADAMTS13療法-	吉治 仁志	消化器内科学	14,203,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
疾患モデルオンチップ血管網によるスタージ・ウェーバー症候群の異常脳血管の再現と病態解明	坂野 公彦	第二生理学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝性神経変性疾患に関わるRNA結合タンパク質のアミノ酸変異の相分離異常解析	七浦 仁紀	脳神経内科学	3,250,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
世界最大劇症型心筋炎レジストリを用いた長期疫学調査及び予後予測モデルの開発	斎藤 能彦	循環器内科学	8,450,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
「脳とこころの研究推進プログラム(領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト)」	山室 和彦	精神医学	11,700,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
相分離破綻に起因する神経変性疾患に関する研究開発(プログラム名:精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト)	森 英一朗	未来基礎医学	24,700,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
プログラム名「健康・医療の向上に向けた早期ライフステージにおける生命現象の解明」 早期ライフステージにおける前頭前野の髄鞘形成は社会性を制御するのか?	牧之段 学	精神医学	7,144,020	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
慢性めまいの層別化治療と治療装置開発に関する研究	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	9,100,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
薬剤性間質性肺炎および重症薬疹の新規診断バイオマーカーの適格性確認に関する研究	浅田 秀夫	皮膚科学	3,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
抗ADAMTS13阻害抗体による後天性von Willebrand症候群の治療法の開発	松本 雅則	輸血部	69,550,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
統合失調症者に対するタブレットデバイスを用いたハイブリッド型認知機能リハビリテーションの効果検討に関するプロトコル開発	盛本 翼	精神医学	260,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床開発を目指したベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査研究	杉江 和馬	脳神経内科学	520,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肝硬変症に対するリハビリテーション医療の確立、筋肉再生-肝臓修復機構の解析を通じた新たなバイオマーカーの探索	吉治 仁志	消化器内科学	3,250,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
生細胞染色 CTS (Click-to-sense) 法を用いた乳がんの乳房温存手術の切除断端に対する術中迅速診断の確立	倉上 弘幸	臨床研究センター	780,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展	尾上 健児	循環器内科	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
マルチオミックス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現	尾上 健児	循環器内科	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
スティーヴンス・ジョンソン症候群および中毒性表皮壊死症の新規重症度予後予測スコアの開発とガイドラインへの反映	浅田 秀夫	皮膚科	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化	尾上 健児	循環器内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
インターフェロンフリー治療がC型肝炎患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究	吉治 仁志	消化器内科	1,040,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
液-液相分離制御破綻に着目した筋萎縮性側索硬化症における運動ニューロン障害の分子病態解明に関する研究開発	五十棲 規嘉	未来基礎医学	1,950,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
免疫細胞による精神病理の操作を目指して	牧之段 学	精神医学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Personal Life Record(PLR)と専門職の知見を組み合わせたヘルスケアサービスの社会実装を促進する研究プロセスとデザインのフローの可視化	倉上 弘幸	臨床研究センター	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究	古西 満	健康管理センター	2,249,999	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
HIV関連病態である血友病の豊かな未来を目指した画期的治療法・診断法の創出	野上 恵嗣	小児科学	16,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	補
細胞外マトリクスを介した血管リモデリング機構の解明と加齢変化の解析	森 英一朗	未来基礎医学	1,950,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
精神疾患レジストリの利活用による治療効果、転帰予測、新たな層別化に関する研究	牧之段 学	精神医学	2,210,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新生児低酸素性虚血性脳症の早期重症度診断法の開発	榊原 崇文	小児科学	325,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発	牧之段 学	精神医学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた戦略的研究	浅田 秀夫	皮膚科学	1,170,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
統合的複合がん免疫療法を目指した樹状細胞活性化アラミン、HMGN1ペプチドに関する研究開発	伊藤 利洋	免疫学	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高ずり応力を伴う循環器疾患に随伴する消化管血管異形成の形成・消退の実態解明	松本 雅則	輸血部	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳機能障害の malignant loop 抑制手法の開発	牧之段 学	精神医学	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
抗ウイルス機能に優れたT細胞を誘導する人工T細胞抗原の開発	北畠 正大	免疫学	3,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験 責任医師としての治験・臨床研究の実施	杉江 和馬	脳神経内科学	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
細胞内膜動態によるプロテオスタシス制御の理解:健康長寿の実現に向けて	中村 修平	生化学講座	22,100,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Understanding tissue-specific regulation and function of autophagy for the prevention of age-related metabolic disorders	中村 修平	生化学講座	2,600,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性腎疾患の疾患・重症度分類の再定義に向けた研究開発	松本 雅則	輸血部	260,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
循環器疾患におけるシングルセルマルチオミクス層別化の実現	尾上 健児	循環器内科	1,950,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
内臓痛の新規センシング機構の解明と治療法開発	田中 達英	解剖学第二講座	16,276,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児から成人に移行する慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	尾上 健児	循環器内科	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
非神経細胞のストレスエンGRAMから読み解く心的フレイルの統合的理解と診断的治療への応用	牧之段 学	精神医学	12,350,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児から成人をシームレスに対象としたB前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究	石原 卓	小児科学	955,500	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
アスタチン-211と金マイクロスフィアを用いたIVR手法による原発性および転移性肝がんの局所内放射線治療の研究開発	西尾福 英之	放射線診断・IVR学講座	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
脳表現空間インタラクション技術の創出	田村 健太郎	脳神経外科学	2,600,000	委	科学技術振興機構
仮想エージェントによる個人適応された情動社会スキルの訓練	岡崎 康輔	精神医学	11,050,000	委	科学技術振興機構
安全な酸化剤による革新的な酸化反応活性化制御技術の創出	矢野 寿一	微生物感染症学	1,300,000	委	科学技術振興機構
嗅皮質情報統合地図の構築とその応用	眞部 寛之	第一生理学	10,270,000	委	科学技術振興機構
卵子の「質」構築を理解し、再建へと繋げる次世代卵子学の創出	長岡 創	発生・再生医学講座	6,500,000	委	科学技術振興機構
社会性に影響するマイクログリア由来BDNFへのニコチンの影響の解析	鳥塚 通弘	精神医学	500,000	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
上部尿路癌における光干渉断層撮影の壁深達度診断精度に関する研究	三宅 牧人	泌尿器科学	1,000,000	補	日本泌尿器科学会
住環境温度・皮膚温・脈拍変動の連続測定データを用いた入浴事故予防法の開発	田井 義彬	疫学・予防医学	600,000	補	一般財団法人 日本健康開発財団
LTRレトロトランスポゾン介在型転写物の種間比較による種特異的インプリント遺伝子成立の起源の探索	小林 久人	発生・再生医学	2,000,000	補	公益財団法人 武田科学振興財団
孤立・孤独によってもたらされる精神症状の生物学的基盤解明および臨床的対応の検討	小森 崇史	精神医学	1,000,000	補	公益財団法人 大阪難病研究財団
多能性幹細胞から前庭有毛細胞の特異的分化誘導の試み—高度前庭障害の新規治療法の開発—	阪上 雅治	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	750,000	補	公益財団法人 大阪難病研究財団
皮膚の感覚センシング機構の分子基盤の解明	田中 達英	解剖学第二	10,000,000	補	公益財団法人 武田科学振興財団
第三次医療機関において分離されたESBL産生Klebsiella pneumoniae の分子疫学的解析	伊藤 渉	感染症センター	500,000	補	公益財団法人 社の都医学振興財団
新型コロナウイルス感染症感染拡大下における周産期の母子への看護/助産ケアに関する研究	五十嵐 稔子	母性看護学	200,274	補	公益社団法人 日本看護協会
寿命延伸と生殖活動を両立する神経系オートファジー制御機構の解明	中村 修平	生化学	1,000,000	補	花王健康科学研究会
日本人免疫原性血栓性血小板減少性紫斑病の発症に関与するアレール拘束性T細胞エピトープの同定及び抗原提示における免疫学的解析	酒井 和哉	輸血部	1,200,000	補	一般社団法人 日本血栓止血学会
凝固第Ⅴ因子軽鎖に存在する新規抗凝固機能の解明	下西 成人	血栓止血分子病態額	1,200,000	補	一般社団法人 日本血栓止血学会
血友病A細胞治療に向けた高機能ヒトiPS細胞由来肝類洞内皮細胞の分化誘導技術開発	三谷 成二	血栓止血先端医学	1,200,000	補	一般社団法人 日本血栓止血学会
組織因子経路インヒビター2による卵巣腫瘍の良悪性の鑑別	前花 知果	産婦人科学	500,000	補	ジョンソンエンドジョンソン株式会社
人工膝関節全置換術後の歩行動作解析、目標アライメント別による違い	西村 優輝	整形外科科学	300,000	補	ジョンソンエンドジョンソン株式会社
老化関連T細胞の血管免疫芽球性リンパ腫研究への応用	宮川 史	皮膚科学	500,000	補	加齢皮膚医学研究会
免疫原性血栓性血小板減少性紫斑病患者におけるADAMTS13の疾患感受性HLA(DRB1 * 08:03)拘束性T細胞エピトープ領域の固定	酒井 和哉	輸血部	1,000,000	補	一般財団法人 日本血液学会
多能性幹細胞を用いた組織特異的血管網を有する異所性肝組織のin vivo構築と血友病A治療	三谷 成二	血栓止血先端医学	900,000	補	バイエル薬品株
感覚センシングを制御する免疫細胞の動作原理解明	田中 達英	解剖学第二	8,000,000	補	公益財団法人 三菱財団
特定健診項目を用いた心不全早期診断アルゴリズムの開発	野木 一孝	循環器内科学	1,000,000	補	バイエル薬品株
間葉系幹細胞が有する向凝固特性と血液との相互作用の解明	辰巳 公平	血栓止血先端医学	500,000	補	一般社団法人 日本血液学会
20歳以下の症例での軟骨電動補聴器のフィッティング結果と公的支援	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補	公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会 2023(令和5)年度コストコSPIO研究助成金
種特異的なゲノム刷り込み遺伝子座に寄与するレトロトランスポゾン	小林 久人	発生・再生医学	5,850,000	補	公益財団法人 三菱財団
オートファジー活性の加齢変容に伴う発がん機構の解明	中村 修平	生化学	2,000,000	補	公益財団法人 安田記念医学財団
心不全早期診断と専門医紹介を促進する地域医療連携体制の構築	尾上 健児	循環器内科学	2,000,000	補	ファイザー株式会社
成長ホルモン療法の治療効果に及ぼす諸因子の解析並びにアドバース・イベントの調査に関する研究	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科学	100,000	補	公益財団法人 成長科学協会

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
オンチップ血管網技術と、ゲノム編集による疾患特異的iPS細胞を用いた血管難病の病態解明	坂野 公彦	生理学第二	1,400,000	補	公益財団法人 母子健康協会
自閉スペクトラム症におけるメトフォルミンの先進的研究	山室 和彦	精神医学	1,000,000	補	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
結節性硬化症におけるSerum-and Glucocorticoid- inducible Kinase (SGK) シグナルの意義	井上 浩一	解剖学第一	2,000,000	補	公益信託康本徳守記念結節性硬化症関連神経難病研究基金
学術集会発表準備	稲垣 有佐	リハビリテーション医学	500,000	補	ジンマーバイオメット インスティテュート
幹細胞由来肝構成細胞を用いた肝組織のin vivo構築と血友病A治療	三谷 成二	血栓止血先端医学	2,000,000	補	公益財団法人テルモ生命科学振興財団
分子標的治療薬による皮膚障害における表皮自然免疫応答の研究	御守 里絵	皮膚科学	2,000,000	補	日本イーライリリー株式会社
卵巣オルガノイド作成技術を駆使した妊孕性拡張創薬	長岡 創	発生・再生医学	1,500,000	補	公益財団法人 中外創薬科学財団
神経筋疾患の治療法開発にむけた凝集体形成機序の解明	七浦 仁紀	脳神経内科学	2,000,000	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
In vitro 卵子誘導系を駆使した妊孕性拡張創薬	長岡 創	発生・再生医学	2,500,000	補	公益財団法人 神澤医学研究振興財団
膠芽腫の低酸素環境を克服するHIF1 $\alpha$ ノックアウト同種NK細胞の開発	中澤 務	脳神経外科学	1,000,000	補	公益財団法人 日立財団
糖尿病を合併したCIDPにおける臨床生理学的解析	杉江 和馬	脳神経内科学	500,000	補	CSLベーリング(株)
新たなリソーム品質機構の理解に基づく老化の根本原理解明	中村 修平	生化学	15,000,000	補	公益財団法人 東レ科学振興会
生殖と寿命のバランス制御の中核を担う組織間コミュニケーションの解明	中村 修平	生化学	5,000,000	補	公益財団法人 細胞科学研究財団
地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究(21IA1006)	今村 知明	公衆衛生学	8,254,000	委	厚生労働省
新型コロナウイルス感染症対策に取組む食品事業者における食品防御の推進のための研究(21KA1009)	今村 知明	公衆衛生学	11,043,000	委	厚生労働省
保険収載されている医療技術の再評価方法を策定するための研究(22AA2005)	今村 知明	公衆衛生学	5,556,000	委	厚生労働省
各国の電子処方箋の制度及び医療DXの実態把握のための研究(23CA2006)	池田 和之	薬剤部	7,680,000	委	厚生労働省
将来の医療需要を踏まえた外来及び在宅医療の提供体制の構築のための研究(22IA1009)	今村 知明	公衆衛生学	8,736,000	委	厚生労働省
レセプト情報・特定健診等情報を用いた医療保健事業・施設等のエビデンス構築等に資する研究(23AA2004)	今村 知明	公衆衛生学	10,953,000	委	厚生労働省
HIV感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究(23HB1001)	野田 龍也	公衆衛生学	13,322,000	委	厚生労働省
科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究(23KC2009)	松本 雅則	輸血部	2,800,000	委	厚生労働省
医療専門職の実態把握に関する研究(21IA2008)	今村 知明	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
適切な睡眠・休息促進に寄与する「新・健康づくりのための睡眠指針」と連動した行動・習慣改善ツール開発及び環境整備(21FA1002)	佐伯 圭吾	疫学・予防医学	300,000	委	厚生労働省
臨床疫学に活用可能なNDB 等データセットの作成に関する研究(21AA2006)	野田 龍也	公衆衛生学	1,000,000	委	厚生労働省
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究(21FC1016)	谷口 晃	整形外科	200,000	委	厚生労働省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	厚生労働省
HIV・エイズの早期治療実現に向けての研究(21HB1003)	野田 龍也	公衆衛生学	2,000,000	委	厚生労働省
免疫アレルギー疾患対策に関する研究基盤及び評価基盤の構築(21FE2001)	野田 龍也	公衆衛生学	1,200,000	委	厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究(21FC2001)	野田 龍也	公衆衛生学	800,000	委	厚生労働省
HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究(21HB2003)	野上 恵嗣	小児科学	2,000,000	委	厚生労働省
間質性膀胱炎の患者登録と診療ガイドラインに関する研究(21FC1012)	鳥本 一匡	泌尿器科学	0	委	厚生労働省
ドクターヘリの効果的な運用と安全管理に関する研究(21IA2017)	野田 龍也	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
国や都道府県が循環器病対策に関する計画を策定する際に利用可能な指標の設定、及び新型コロナウイルス感染症による循環器病への影響の評価のための研究(22FA1018)	今村 知明	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
医療機器等におけるより高度な医療安全のためのバーコードの活用に関する研究(22KC2002)	池田 和之	薬剤部	0	委	厚生労働省
地域医療構想を踏まえた救急医療体制の充実に関する研究(22IA2004)	野田 龍也	公衆衛生学	200,000	委	厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患患者における加熱式たばこの経年的な肺機能への影響に関する前向き観察研究(22FA1011)	室 繁郎	呼吸器内科学	150,000	委	厚生労働省
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究(22FG2001)	渡邊 恵介	ペインセンター	400,000	委	厚生労働省
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化ための研究(22HA1007)	笠原 敬	感染症センター	450,000	委	厚生労働省
新興・再興感染症のリスク評価とバイオテロを含めた危機管理機能の実装のための研究(22HA2002)	野田 龍也	公衆衛生学	11,000,000	委	厚生労働省
医療および介護レセプトデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究(22GA1001)	西岡 祐一	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究(23FC1019)	佐伯 圭吾	疫学・予防医学	188,000	委	厚生労働省
難治性聴覚障害に関する調査研究(23FC1049)	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	300,000	委	厚生労働省
成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群(プラダーウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究(23FC1040)	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科学	300,000	委	厚生労働省
予防・健康づくりのための住環境整備のための研究(23FA1009)	佐伯 圭吾	疫学・予防医学	600,000	委	厚生労働省
小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サバイバーシップ向上を志向して(23EA1016)	木村 文則	産婦人科学	1,000,000	委	厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究(23FC1042)	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科学	350,000	委	厚生労働省
糖尿病の実態把握と発症予防・重症化予防のための研究(23FA1020)	野田 龍也	公衆衛生学	300,000	委	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究(23FC1014)	杉江 和馬	脳神経内科学	1,200,000	委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究(23FC1017)	杉江 和馬	脳神経内科学	200,000	委	厚生労働省
公的に標準化された医療情報を活用した感染症流行状況と一般診療状況を把握するための分析手法の開発および評価方法に関する研究(23IA1015)	明神 大也	公衆衛生学	2,000,000	委	厚生労働省
保健所における健康危機管理対応の推進等に関する研究(23LA2002)	佐伯 圭吾	疫学・予防医学	300,000	委	厚生労働省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	厚生労働省
ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究(23DA0901)	谷 有貴	NICU	200,000	委	厚生労働省
NDBの迅速提供に向けたスキーム再構築に資する研究(23CA2007)	今村 知明	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療と支援に関する研究(23FC1056)	森本 千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	100,000	委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究(23FC1022)	松本 雅則	輸血部	1,200,000	委	厚生労働省
スモンに関する調査研究(23FC2001)	杉江 和馬	脳神経内科学	1,400,000	委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療と支援に関する研究(23FC1056)	西 智	眼科学	100,000	委	厚生労働省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究(23FC1038)	浅田 秀夫	皮膚科学	1,400,000	委	厚生労働省
新型コロナワクチンを含むコホート調査並びに副反応シグナル全国調査(22HA2006)	野田 龍也	公衆衛生学	9,524,000	委	厚生労働省
肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者のQOL向上等に資する研究(23HC2001)	吉治 仁志	消化器内科学	1,500,000	委	厚生労働省
特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究(23FC1050)	彦惣 俊吾	循環器内科学	300,000	委	厚生労働省
特定機能病院の評価指標の開発に資する研究(23CA2020)	今村 知明	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
ICD-11の適用を通じて我が国の死因・疾病統計の向上を目指すため研究(23AB1002)	今村 知明	公衆衛生学	0	委	厚生労働省
多能性幹細胞の分化制御機構の情報物理学的解析	吉田 純子	第二生理学	1,950,000	委	文部科学省
脳内外をつなぐ髄膜および脳血管周囲腔マクロファージの役割解明	牧之段 学	精神医学	6,500,000	委	文部科学省
匂いを多次元的価値に変換する神経回路機構の解明と質感の客観的評価法の構築	眞部 寛之	第一生理学	3,900,000	委	文部科学省
TFEB依存的・非依存的ポストリソソームシグナルによる個体および生殖寿命制御機構	中村 修平	生化学	11,830,000	委	文部科学省
ポストリソソーム生物学研究領域の創成支援	中村 修平	生化学	1,300,000	委	文部科学省
組織学と複合した単一細胞DNAメチル化解析法による原始卵胞淘汰過程の解明	栗本 一基	発生・再生医学	12,220,000	委	文部科学省
血友病A治療を目指したユニバーサル細胞療法の創出	嶋 緑倫	血栓止血先端医学	6,110,000	委	文部科学省
疫学と臨床医学、情報工学の融合によるデータベース医学の標準的疾患定義の開発	野田 龍也	公衆衛生学	7,410,000	委	文部科学省
医療・介護・健診連結データを用いた意思決定に資するリアルワールドエビデンスの構築	今村 知明	公衆衛生学	11,700,000	委	文部科学省
術後生活機能障害の5年間追跡調査とプレハビリテーションプログラムの有効性評価	川口 昌彦	麻酔科学	2,470,000	委	文部科学省
光曝露が糖尿病・心血管疾患・がん・認知症の発症および予後に及ぼす中長期影響	大林 賢史	疫学・予防医学	2,860,000	委	文部科学省
全能性状態の誘導による人工的動物個体作製法の開発	堀江 恭二	第二生理学	3,900,000	委	文部科学省
ゲノム刷り込み機構の機能的多様性を明らかにする種間インプリントーム比較解析	小林 久人	発生・再生医学	4,160,000	委	文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
復帰変異モザイクモデルマウスを用いた表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明	新熊 悟	皮膚科学	5,070,000	委	文部科学省
末梢血循環癌細胞(CTC)のLiquid biopsy標的としての含意探索	澤端 章好	胸部・心臓血管外科学	5,720,000	委	文部科学省
人工赤血球の一酸化炭素/酸素運搬機能の最適化による出血性ショック蘇生効果の向上	酒井 宏水	化学	4,940,000	委	文部科学省
収縮性の保持された心不全の発症・進展機序の解明に関する研究	斎藤 能彦	循環器内科学	5,590,000	委	文部科学省
医療・介護・健診連結ビッグデータを用いた内分泌代謝疾患のリアルワールド解析	西岡 祐一	公衆衛生学	3,250,000	委	文部科学省
子宮内細菌叢形成の探求とそれに基づいたプレコンセプションケアの開発	木村 文則	産婦人科学	8,060,000	委	文部科学省
喉頭全摘出者の退院後のQOL向上を目指す継続看護チームの介入: RCTによる縦断調査	小竹 久実子	在宅看護学	4,030,000	委	文部科学省
LC3による非オートファジー機能を介した損傷リソソーム修復機構の解明	中村 修平	生化学	7,540,000	委	文部科学省
表情認知障害を起点とする自閉スペクトラム症の二次障害の成立過程の解明	岡田 俊	精神医学	130,000	委	文部科学省
直腸癌手術における電極付き尿道カテーテルを用いた術中排尿機能モニタリングの検討	阿部 龍一	中央手術部	390,000	委	文部科学省
血管内皮細胞からARDSの病態を解明する-ヒストン修飾酵素SETDB2の意義-	園部 奨太	集中治療部	910,000	委	文部科学省
RA患者の周術期におけるハイリスク薬剤管理に関する医療安全教育プログラム構築	松田 明子	理論基礎看護学	780,000	委	文部科学省
医療観察法通院処遇対象者への訪問看護における看護実践指針の開発	奥田 淳	精神看護学	1,430,000	委	文部科学省
乳児を育てる母親の産後うつを予防し、育児をポジティブに捉えるプログラムの開発	木村 奈緒美	母性看護学	390,000	委	文部科学省
ミクログリアを標的としたグリオーマ/ミクログリア関連の制御による新規腫瘍抑制	井上 浩一	第一解剖学	1,430,000	委	文部科学省
モノアミンによる眼球運動系神経積分器の修飾機構	齋藤 康彦	第一生理学	1,300,000	委	文部科学省
真皮マクロファージにおける新規の炎症疼痛制御因子の機能解析	和中 明生	第二解剖学	780,000	委	文部科学省
膵β細胞におけるグルコース応答性インスリン翻訳調節機構の解明	山内 晶世	生化学	1,300,000	委	文部科学省
浸潤性膀胱癌に特異的に発現するマイクロRNAおよび分化マーカーの発現機序の解明	藤井 智美	病理診断学	1,040,000	委	文部科学省
マイクロRNAを用いたHMGB1標的化-新規トリプルネガティブ乳癌治療戦略の検討	羅 奕	分子病理学	1,690,000	委	文部科学省
新規抗菌薬開発に向けたIMP型メタロ-β-ラクタマーゼと基質複合体のX線結晶解析	山本 恵三	化学	780,000	委	文部科学省
免疫チェックポイント分子HLA-Fを標的とした新規がん免疫療法の開発	王寺 典子(下嶋)	免疫学	1,300,000	委	文部科学省
ナノDDSを応用した腎毒性を低減できる新規ヨード造影剤の開発と体内動態の解明	越智 朋子	放射線診断・IVR学	390,000	委	文部科学省
イメージング質量分析を用いた肝細胞癌TAE後の再発機序およびバイオマーカー探索	山内 哲司	総合画像診断センター	1,300,000	委	文部科学省
腫瘍内微小環境を考慮したエマルションを用いた新規カテーテル治療の開発	田中 利洋	放射線診断・IVR学	2,470,000	委	文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	託元
放射線障害に関わる遅発性活性酸素と核外シグナルの機構解明	菓子野 元郎	RI実験施設	910,000	委	文部科学省
血液凝固の第Ⅷ因子制御に基づく血友病A及び血栓性疾患の新規治療薬開発の基礎的研究	野上 恵嗣	小児科学	780,000	委	文部科学省
血友病Aインヒビター産生応答を制御する脾臓免疫ニッチの同定	小田 朗永	小児科学	1,560,000	委	文部科学省
血友病A患者・保因者の第Ⅷ因子遺伝子型に基づく病態解析と新規個別化治療戦略の開発	矢田 弘史	総合周産期母子医療センター NICU	780,000	委	文部科学省
Drug RepositioningとLeaky Gut制御による新規肝硬変治療	吉治 仁志	消化器内科学	1,040,000	委	文部科学省
PAD患者下肢動脈血行再建後のサルコペニア改善に関する前向きコホート研究	市橋 成夫	放射線診断・IVR学	520,000	委	文部科学省
たこつぼ症候群の発症メカニズム解明を通じた新規心不全治療ターゲットの探索	尾上 健児	循環器内科学	1,430,000	委	文部科学省
脂質代謝関連分子ANGPTL4による肺線維症の病態解明と新規治療戦略の確立	北畠 正大	免疫学	1,300,000	委	文部科学省
DIHSにおけるHHV-6持続感染に着目した自己免疫疾患の発症機序の解明	浅田 秀夫	皮膚科学	780,000	委	文部科学省
独自の遺伝子パネル作成によるトリプルネガティブ乳癌の革新的免疫併用治療戦略の構築	池田 直也	乳腺センター	1,560,000	委	文部科学省
陰部テタヌス刺激による小児術中MEP増幅法の開発	本山 靖	脳神経外科学	520,000	委	文部科学省
液体窒素処理による切断肢の長期凍結保存と再接着に関する実験研究	岡田 博	玉井進記念四肢外傷センター	1,300,000	委	文部科学省
後腹膜肉腫におけるプレジジョン術前補助免疫化学療法法の確立を目指した基盤研究	藤本 清秀	泌尿器科学	1,170,000	委	文部科学省
5-アミノレブリン酸による前立腺癌の放射線増感効果と有害事象抑制効果の同時解明	田中 宣道	寄附講座前立腺小線源治療講座	2,210,000	委	文部科学省
子宮腺筋症の遺伝子発現プロファイルによる分類法の確立	岩井 加奈	産婦人科学	780,000	委	文部科学省
骨導超音波を用いた人工内耳のための新しい術前聴力検査の開発	岡安 唯	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300,000	委	文部科学省
微小動揺を指標としてインプラントの免荷期間を再検証する	堀田 聡	口腔外科学	910,000	委	文部科学省
埋入トルク値がインプラント周囲骨の長期安定性に及ぼす影響および適正トルク値の解明	杉浦 勉	口腔外科学	1,170,000	委	文部科学省
高悪性度口腔癌の再発・転移にかかわる遺伝子の解明	山川 延宏	口腔外科学	650,000	委	文部科学省
PXDNIによるがん代謝と微小環境を標的とした口腔癌の治療戦略	栗原 都	口腔外科学	1,170,000	委	文部科学省
光バイオプシーとリキッドバイオプシーを用いた口腔癌の早期診断システムの開発	松末 友美子	口腔外科学	1,560,000	委	文部科学省
薬剤関連顎骨壊死の発症メカニズムの解明と新規予防法/治療法の開発	柳生 貴裕	口腔外科学	1,170,000	委	文部科学省
抗claudin-4抗体による口腔癌に対する化学療法の増強効果	山本 一彦	口腔外科学	910,000	委	文部科学省
歯周病と慢性肝疾患病態の関連解明—新たな肝疾患進展予防施策の探索	赤羽 たけみ	消化器内科学	520,000	委	文部科学省
がん骨転移診療システム構築に向けての取り組み	田中 誠人	整形外科	390,000	委	文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
腎臓病進展予防を目指した治療介入アプリの開発	笠原 正登	臨床研究センター	650,000	委	文部科学省
女性医師のアカデミックキャリア向上を目指した新たな教育プログラムの開発	須崎 康恵	女性研究者・医師支援センター	650,000	委	文部科学省
在宅医療・介護職視点の認知ギャップを踏まえた医療介護連携促進への対策ツールの開発	岡本 左和子	教育開発センター	1,560,000	委	文部科学省
糖尿病患者の治療意欲を引き出す新たな行動変容促進アプローチの開発	毛利 貴子	糖尿病・内分泌内科学	1,170,000	委	文部科学省
抗菌薬治療に伴う薬剤耐性菌出現の実態解明ならびにそのメカニズム解明	中野 竜一	微生物感染症学	1,040,000	委	文部科学省
レセプト情報を用いた新たな糖尿病性腎症重症化ハイリスク因子の探索	岡田 定規	糖尿病・内分泌内科学	1,170,000	委	文部科学省
SGLT2阻害薬で下肢切断リスクは増えるのか? :ビッグデータを用いた解析	紙谷 史夏	糖尿病・内分泌内科学	1,300,000	委	文部科学省
スズラン毒(convallatoxin)の凝固機能に及ぼす影響	粕田 承吾	法医学	1,300,000	委	文部科学省
分子標的薬内服治療による手足皮膚反応重症化を予防する看護ケアガイドラインの開発	升田 茂章	成人慢性期看護学	1,040,000	委	文部科学省
入院時の分娩進行度と医療介入の関連を基軸とした入院のための診断基準の構築	五十嵐 稔子	母性看護学	1,040,000	委	文部科学省
COVID-19関連サルコペニアに対する栄養介入と運動負荷の併用の効果	藤井 澄	分子病理学	1,560,000	委	文部科学省
高機能自閉症者に適した低強度運動プログラムの効果検証	松田 康裕	精神医学	1,300,000	委	文部科学省
シンバイオティクスの粘膜免疫機構を活かした自己免疫疾患の予防・治療に関する研究	久保 薫	分子病理学	1,300,000	委	文部科学省
拡張不全における新規誘導型内皮由来過分極因子による末梢循環調節機構の解明	工藤 利彩	法医学	910,000	委	文部科学省
星形構造を持つヘモグロビンポリマーの創製と赤血球代替物への応用を志向した物性制御	松平 崇	化学	1,690,000	委	文部科学省
自殺予防のための自閉スペクトラム症のある子どもの自殺リスクと自尊心の検討	太田 豊作	人間発達学	650,000	委	文部科学省
未知なものに対する不安・葛藤と行動を調節する神経回路の解明	堀井 謹子	第一解剖学	520,000	委	文部科学省
淡水棲マミズクラゲがもつ3つの謎(性決定、芽体形成、生物伝播)の解明に迫る	小林 千余子	生物学	1,040,000	委	文部科学省
脳内に局在するOlig2由来アストロサイト亜集団の機能解析	辰巳 晃子	第二解剖学	1,040,000	委	文部科学省
コロナ禍とパーキンソン病患者:うつ症状の経年変化、睡眠・身体活動測定値の前後比較	形岡 博史	脳神経内科学	1,040,000	委	文部科学省
オートファジー関連神経筋疾患におけるタンパク質恒常性の破綻機序解明	杉江 和馬	脳神経内科学	1,300,000	委	文部科学省
超高速超音波イメージングを用いた血流解析による頸動脈プラーク不安定性評価	斎藤 こずえ	脳卒中センター	910,000	委	文部科学省
免疫系細胞とヒトiPSニューロン共培養系によるASDの病態解析	鳥塚 通弘	精神医学	1,560,000	委	文部科学省
ミトコンドリアからのシグナルは放射線による炎症誘発に関与するか?	小橋川 新子(菓)	RI実験施設	1,430,000	委	文部科学省
血友病Aとフォンウィルブランド病治療薬の半減期を規定するクリアランス受容体の探索	荻原 建一	小児科学	2,080,000	委	文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	文部科学省
抗酸化Nrf2経路賦活によるPBCの病態改善 —ヘスペリジンを用いた新治療—	守屋 圭	消化器内科学	1,300,000	委	文部科学省
血液凝固制御因子ADAMTS13による急性肝不全新規治療法とバイオマーカーの開発	高谷 広章	消化器内科学	1,170,000	委	文部科学省
ネブライシンの心不全改善効果に寄与する基質の優位性の解明	中川 仁	循環器内科学	1,300,000	委	文部科学省
肺由来コンボジットマテリアルによる多能性幹細胞から肺オルガノイドの創出と機能解析	北村 知嵩	病原体・感染防御医学	1,560,000	委	文部科学省
後天性・血栓性血小板減少性紫斑病の動物モデルの作成	松本 雅則	血液内科学	1,300,000	委	文部科学省
高病原性を示すカルバペネムゼ産生肺炎桿菌の分子疫学と治療法構築に向けた研究	矢野 寿一	微生物感染症学	1,300,000	委	文部科学省
クローン病肛門病変に対する組織工学および免疫制御による新規局所療法の開発	久下 博之	消化器・総合外科学	1,300,000	委	文部科学省
肝細胞癌に対する血管新生阻害併用免疫療法における耐性機序の解明と新規治療法の開発	安田 里司	消化器・総合外科学	1,040,000	委	文部科学省
FFPE標本に対する超高感度微量解析のための革新的cDNA合成法の開発	宮尾 晋太郎	消化器・総合外科学	1,040,000	委	文部科学省
人工赤血球を用いた人工心肺充填による臓器保護効果	武村 潤一	胸部・心臓血管外科学	650,000	委	文部科学省
子宮癌手術中における電極付き尿道カテーテルを用いた排尿機能モニタリングの有用性	大井 彩子	中央手術部	1,300,000	委	文部科学省
救命救急センターで分離されたESBL産生大腸菌の患者背景と分子疫学的解析	野村 泰充	集中治療部	1,560,000	委	文部科学省
敗血症の原因菌に対する迅速同定検査法の確立	川井 廉之	救急医学	1,950,000	委	文部科学省
チェックポイント分子HIF1 $\alpha$ をゲノム編集したNK細胞による膠芽腫治療法の開発	中澤 務	脳神経外科学	1,300,000	委	文部科学省
脳虚血に対する脂肪組織由来幹細胞とエクソソーム治療の基盤的研究	中瀬 裕之	脳神経外科学	1,300,000	委	文部科学省
ミトコンドリアカルシウムユニポーターを介した虚血耐性メカニズムの解明	中川 一郎	脳卒中センター	1,040,000	委	文部科学省
小児大腿骨頭壊死に対する改良骨髄間葉系幹細胞を用いた新規治療法の開発	藤井 宏真	整形外科	780,000	委	文部科学省
子宮内膜症に対する酸化的自爆死を誘導する非ホルモン治療法の開発	今中 聖悟	産婦人科学	1,040,000	委	文部科学省
がん関連血栓症における新規卵巣癌マーカーTFPI-2の作用機序の解明	山田 有紀	産婦人科学	1,040,000	委	文部科学省
新たな腫瘍マーカー組織因子経路インヒビター2による卵巣腫瘍の良悪性の鑑別	松原 翔	産婦人科学	1,040,000	委	文部科学省
新たな磁気共鳴緩和測定法を用いた子宮内膜症関連不妊症の重症度の非侵襲的予知	吉元 千陽	産婦人科学	1,040,000	委	文部科学省
ARID1A遺伝子変異卵巣明細胞癌に対するCDC6による合成致死メカニズムの解明	山中 彰一郎	産婦人科学	1,300,000	委	文部科学省
頭頸部癌患者から作成したスフェロイドを用いたがん微小環境によるEMT誘導の解析	木村 隆浩	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300,000	委	文部科学省
生体リズムに着目した緑内障患者の新たな眼外・眼内因子の探索:前向きコホート研究	吉川 匡宣	眼科学	1,300,000	委	文部科学省
PIKKファミリー関連DNA修復機構を標的とする新規口腔がん治療戦略	仲川 洋介	口腔外科学	1,040,000	委	文部科学省

小計 25

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
ハイデガーを手がかりにした現象学的医学哲学の構築	池辺 寧	哲学	650,000	委	文部科学省
健康長寿のための新しい生活様式ー地域前向きコホート研究と公的統計を用いた研究ー	富岡 公子	県民健康増進支援センター	520,000	委	文部科学省
がん終末期在宅療養者における訪問看護師の臨床判断学習支援プログラムの開発	栗田 麻美	在宅看護学	910,000	委	文部科学省
がん薬物療法を受ける糖尿病患者を併せもつがん患者のセルフマネジメント橋渡し支援の開発	田中 登美	成人慢性期看護学	910,000	委	文部科学省
低リスク出産の医療の質指標を用いた医療ケアの改善に向けたプログラムの運用	上田 佳世	母性看護学	780,000	委	文部科学省
自閉スペクトラム症児の母親の情緒的巻き込まれに着目した支援方法の構築	川上 あずさ	小児看護学	910,000	委	文部科学省
思春期に骨肉腫を経験する子どもと親の闘病プロセスの解明	渋谷 洋子	看護実践・キャリア支援センター	390,000	委	文部科学省
喉頭摘出者の暮らしの再構築に向けた訪問看護師による支援の探究	羽場 香織	在宅看護学	1,300,000	委	文部科学省
ミトコンドリア標的化による抗がん剤誘導筋障害の改善	佐々木 隆光	分子病理学	1,300,000	委	文部科学省
糖化HMGB1の糖尿病性フレイルにおける役割とその抑制法の検討	川原 勲	分子病理学	1,170,000	委	文部科学省
リボソーム化した複合抗酸化剤による人工赤血球のメチル抑制とその機構の解明	山田 孫平	化学	1,040,000	委	文部科学省
トリーク多様体の偏極構造と凸多面体の関係の研究	川口 良	臨床数学	650,000	委	文部科学省
大脳皮質オフライン情報処理に潜む機能構造	上田 壮志	第一生理学	1,560,000	委	文部科学省
転移肺癌における抗癌剤抵抗性能獲得機序の解明とその応用	米田 明弘	動物実験施設	2,080,000	委	文部科学省
真皮免疫細胞に着目した痛覚新規センシング機構の解明	田中 達英	第二解剖学	2,600,000	委	文部科学省
トラウマ症状を有する自閉スペクトラム症への反復的経頭蓋磁気刺激の有効性評価	井川 大輔	精神医学	1,430,000	委	文部科学省
自閉スペクトラム症におけるマクロファージの食能に着目した病態解明	山内 崇平	精神医学	1,690,000	委	文部科学省
社会的経験により発達する前頭前野-小脳回路の解明 中脳水道周囲灰白質を中心に	芳野 浩樹	精神医学	1,560,000	委	文部科学省
がんの低酸素環境下におけるナノテクノロジーを用いた新規IVR治療の開発	西尾福 英之	放射線診断・IVR学	910,000	委	文部科学省
イメージング質量分析とMRIによるGlymphatic systemの比較解析	宮坂 俊輝	総合画像診断センター	1,430,000	委	文部科学省
肝細胞癌に対する新規DDSを用いたレンパチニブ肝動注療法の開発	茶之木 悠登	放射線診断・IVR学	2,210,000	委	文部科学省
肺血栓塞栓症における血管閉塞を血液マーカーで診断する方法の開発	早川 正樹	がんゲノム・腫瘍内科学	1,300,000	委	文部科学省
マウス肺気腫モデルにおける肺再生の定量的形態測定とヒト肺気腫画像との相同性	室 繁郎	呼吸器内科学	1,560,000	委	文部科学省
トレース機能を有する人工培養毛iHairを用いたWntシグナルによる発毛制御	王寺 幸輝	病原体・感染防御医学	1,690,000	委	文部科学省
単球によるType2炎症反応の抑制機構の解明と臨床応用	宮川 史	皮膚科学	1,690,000	委	文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
血管透過性亢進病態における血管外凝固第IX因子の役割解明	坂田 飛鳥	血栓止血医薬生物学共同研究講座	1,560,000	委	文部科学省
大規模な大腸菌ゲノム解析による病原性・耐性遺伝子の共存関係および表現形質の特定	関根 隆博	感染症センター	1,430,000	委	文部科学省
塩誘導キナーゼ結合インタラクトームを介するステロイドホルモン産生組織の機能解析	秦野 修	疫学・予防医学	1,690,000	委	文部科学省
T細胞不活化分子CD200を標的とした神経芽腫に対する新規治療法の開発	黒田 靖浩	消化器・総合外科学	650,000	委	文部科学省
大動物モデルによる胸腺上皮性腫瘍のセンチネルリンパ節同定の探索的実験	濱路 政嗣	胸部・心臓血管外科学	2,210,000	委	文部科学省
プレハビリテーションによる虚血後運動障害予防効果とカベオリン1発現に関する研究	恵川 淳二	集中治療部	1,820,000	委	文部科学省
小児脊椎手術での電極付き尿道カテーテルを使用した術中排尿機能モニタリングの開発	小川 裕貴	麻酔科学	1,170,000	委	文部科学省
排尿機能評価として尿道括約筋から記録する球海綿体反射モニタリングの開発	植村 景子	中央手術部	1,430,000	委	文部科学省
腸管虚血再灌流による腸管傷害・肝傷害の発生・進展に対するADAMTS13の影響	西尾 健治	総合医療学	1,430,000	委	文部科学省
急性呼吸窮迫症候群の病態へのADAMTS13への影響	西村 信城	在宅医療支援センター	1,820,000	委	文部科学省
超らせん構造型ミトコンドリアDNAの敗血症における機能的役割の解明	中平 毅一	薬理学	1,560,000	委	文部科学省
糖化PEG修飾型免疫チェックポイント抗体とNK細胞を用いた集学的免疫細胞治療の開発	前岡 良輔	脳神経外科学	1,560,000	委	文部科学省
悪性髄膜腫に対する末梢血および臍帯血由来NK細胞を用いた免疫細胞療法の開発	松田 良介	脳神経外科学	1,950,000	委	文部科学省
臍帯血由来CAR-NK細胞による膠芽腫治療法の開発	西村 文彦	脳神経外科学	1,170,000	委	文部科学省
再生神経インターフェイスによる有痛性断端神経腫の新規治療法の開発	面川 庄平	寄附講座手の外科講座	1,560,000	委	文部科学省
膀胱癌 BCG 療法の至適化を目指した腸内微生物メタボロゲノミクス解析	三宅 牧人	泌尿器科学	1,690,000	委	文部科学省
間質性膀胱炎に関する腸内細菌叢での脂質代謝および血液バイオマーカーの開発	鳥本 一匡	泌尿器科学	2,080,000	委	文部科学省
新たな経腔光学プローブによる子宮内膜症関連不妊症の非侵襲的予知	重富 洋志	産婦人科学	1,560,000	委	文部科学省
Dydrogesterone経口投与の胎児発育不全に及ぼす影響の研究	木村 麻衣	産婦人科学	1,820,000	委	文部科学省
ヒドロキシクロロキンの習慣流産と妊娠高血圧症候群発症への影響に関する検討	脇 啓太	産婦人科学	2,340,000	委	文部科学省
耳鳴動物モデルの普遍化と治療法開発	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,730,000	委	文部科学省
軟骨伝導聴力および軟骨伝導補聴器の評価法に関する検討	西村 忠己	めまい・難聴センター	2,340,000	委	文部科学省
メニエール病のめまい発作の機序の解明	今井 貴夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,860,000	委	文部科学省
動物実験モデルを用いた耳鳴治療の再検証と新規治療法の開発	山下 哲範	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,560,000	委	文部科学省
埋入トルク値の違いによるインプラント体周囲骨組織に与える影響と最適トルク値の解明	村上 和宏	口腔外科学	2,470,000	委	文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
動物と密に接する環境が薬剤耐性菌授受と腸内細菌叢に与える影響	中野 章代	微生物感染症学	1,560,000	委	文部科学省
高齢者・中高年者における循環器疾患予防のための睡眠の介入可能性の探索	平田 匠	臨床研究センター	2,860,000	委	文部科学省
入浴事故予防にむけた疫学研究	佐伯 圭吾	疫学・予防医学	2,210,000	委	文部科学省
医療施設のクローン病癌化サーベイランスの認識とクローン病患者のセルフモニタリング	石橋 千夏	成人慢性期看護学	1,560,000	委	文部科学省
孤立出産のリスク要因とポジティブデビアンズによる強化的要素の解明と支援策の構築	坂東 春美	公衆衛生看護学	2,470,000	委	文部科学省
がん性悪液質の増悪因子である舌萎縮の機序解明と抑制法の検討	大森 斉	分子病理学	1,560,000	委	文部科学省
身体活動による快情動(心地よさ)を基盤とした新しいがんリハビリテーションの開発	城戸 顕	リハビリテーション医学	2,860,000	委	文部科学省
深層筋解析を基盤とした脳血管障害後に対する歩行機能の再建研究	眞野 智生	脳神経内科学	1,950,000	委	文部科学省
DNA 損傷特異的人工エンドヌクレアーゼによる修復亢進の分子機構	杉浦 重樹	組換えDNA実験施設	1,560,000	委	文部科学省
CKD病態マーカーとしてのキララアミノ酸プロファイリングの有用性の検討	五十川 雅裕	臨床研究センター	1,820,000	委	文部科学省
深層学習による肺癌術前補助療法後の組織学的治療効果判定モデルの構築	吉澤 明彦	病理診断学	1,040,000	委	文部科学省
住血吸虫モデルによるin vitro発育システムの開発	吉川 正英	病原体・感染防御医学	1,820,000	委	文部科学省
「ミクロ」オートファジーによるリソソーム膜修復を介した老化抑制機構の解明	中村 修平	生化学	2,210,000	委	文部科学省
ヒト初期発生過程の再構成実験系の開発	堀江 恭二	第二生理学	2,600,000	委	文部科学省
肝癌に対するSulforaphaneの抗腫瘍効果の検討	佐藤 慎哉	消化器内科学	434,961	委	文部科学省
脊髄離断モデルラットに対する骨髄間葉系幹細胞シート移植における移植時期の検討	増田 佳亮	救急医学	1,040,000	委	文部科学省
成人期自閉スペクトラム症における性差と逆境的小児期体験の影響の検討	岡崎 康輔	精神医学	260,000	委	文部科学省
新規タウPET薬剤を用いた認知症に共通するアパシーの病態基盤の解明	松岡 究	精神医学	650,000	委	文部科学省
人工赤血球投与による脊髄虚血改善に関する研究	平賀 俊	集中治療部	910,000	委	文部科学省
ヘモグロビン小胞体のAKI予防効果についての検討	内藤 祐介	麻酔科学	130,000	委	文部科学省
心血管系の手術を受ける高齢患者の足の形態および機能の検証とフットケアの実態	森脇 裕美	成人急性期看護学	260,000	委	文部科学省
統合失調症者に対する運動課題と認知課題の多重課題プログラムCATの効果検証	木納 潤一	精神医学	520,000	委	文部科学省
順遺伝子で同定した新規遺伝子によるマウス・ヒトにおける神経分化制御機構の解明	吉田 純子	第二生理学	1,560,000	委	文部科学省
空間的な単一細胞の遺伝子発現解析による始原生殖細胞の潜在的多能性の制御機構解明	池田 宏輝	発生・再生医学	1,950,000	委	文部科学省
2型リアノジン受容体の組織特異的スプライシングバリエーションの心筋機能との関連の解明	牧野 舞	生化学	1,430,000	委	文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
子宮平滑筋肉腫におけるATRX発現とその機能及び分子機構の解明	内山 智子	病理診断学	1,170,000	委	文部科学省
腹部大動脈瘤に対するステント内挿術後のMRI画像におけるRadiomics解析	岩越 真一	放射線診断・IVR学	1,430,000	委	文部科学省
オンチップ血管網を用いたSturge-Weber症候群モデル構築と発症機序の解明	坂野 公彦	第二生理学	1,820,000	委	文部科学省
NASHにおけるエンドキシンの腸管内吸着を介した肝発癌抑制治療の開発	辻 裕樹	消化器内科学	780,000	委	文部科学省
加齢による肝線維化進展促進に関わる新たな因子の同定とその分子学的メカニズム	西村 典久	消化器内科学	1,300,000	委	文部科学省
幹細胞由来肝類洞内皮細胞の作製と肝線維化治療への応用	三谷 成二	血栓止血先端医学	1,560,000	委	文部科学省
心不全患者の心筋組織を用いたβアドレナリン受容体遮断薬の治療反応性予測指標の探索	中野 知哉	循環器内科学	1,300,000	委	文部科学省
ネプリライシンとアンジオテンシン変換酵素による腎臓での塩分ハンドリングと血圧調節	江里口 雅裕	腎臓内科学	1,170,000	委	文部科学省
虚血再灌流性および薬剤性腎傷害と血小板血栓制御系の関連	大野 史郎	総合医療学	1,300,000	委	文部科学省
個別化治療を目指した網羅的解析による肺癌再発予測miRNAパネルの開発	西和田 敏	消化器・総合外科学	910,000	委	文部科学省
難治性小児固形癌に対する新たな免疫ターゲットの探索と治療法の開発	洲尾 昌伍	消化器・総合外科学	1,950,000	委	文部科学省
大腸癌肝転移におけるCD200を介した治療抵抗性獲得機構の解明と新規治療法の開発	松尾 泰子	消化器・総合外科学	910,000	委	文部科学省
肺癌治療抵抗性関連分子の発現制御による新規集学的治療戦略の開発	長井 美奈子	消化器・総合外科学	1,430,000	委	文部科学省
ユビキチン修飾系を標的とした新規消化器癌治療法の開発	國重 智裕	中央内視鏡部	1,430,000	委	文部科学省
ヒト人工多能性幹細胞由来の骨形成細胞集合体を用いた再生医療の検討	岡村 建祐	整形外科	1,430,000	委	文部科学省
卵巣明細胞癌におけるARID1A変異に対するCCNE1の合成致死メカニズムの解明	河原 直紀	総合周産期母子医療センター MFICU	910,000	委	文部科学省
味蕾の細胞増殖や維持、再生メカニズムの解明	高橋 佑佳	口腔外科学	1,170,000	委	文部科学省
療養病床や介護療養病床で勤務する援助者のスキンケアの認識と対応からの予防策の構築	松田 常美	成人急性期看護学	390,000	委	文部科学省
COVID-19感染拡大が身体活動量およびサルコペニア・フレイルに及ぼす影響	山上 優紀	疫学・予防医学	1,170,000	委	文部科学省
病院排水を利用した薬剤耐性菌監視システムの構築と耐性遺伝子拡散機構の解明	鈴木 由希	微生物感染症学	1,040,000	委	文部科学省
視線保持に関与する神経積分器の神経ネットワーク基盤	杉村 岳俊	第一生理学	1,430,000	委	文部科学省
疾患関連HLA多型性の分子構造解析	中西 真理	寄附講座V-iClinix講座	1,430,000	委	文部科学省
神経難病におけるリピート配列に起因する細胞骨格とオートファジー異常の解明	塩田 智	脳神経内科学	1,430,000	委	文部科学省
タンパク質の制御機構からみたALS/FTDの病態解明	七浦 仁紀	脳神経内科学	1,430,000	委	文部科学省
自閉スペクトラム症における文化的自己観の神経基盤	高橋 誠人	精神医学	1,430,000	委	文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	文部科学省
血栓症を呈した新規凝固第V因子異常症における抗凝固機能低下機序の解明	下西 成人	寄附講座血栓止血分子病理学講座	1,430,000	委	文部科学省
血友病A治療における高機能型第FVIII因子製剤の開発	中島 由翔	血栓止血先端医学	1,300,000	委	文部科学省
Lenvatinibによる門脈圧亢進抑制効果の検討	小川 裕之	消化器内科学	1,170,000	委	文部科学省
アルコール性肝発癌の機序とNrf2活性化剤による多面的発癌抑制作用の検討	石田 光志	消化器内科学	2,210,000	委	文部科学省
NADPHオキシダーゼ構成因子p22phoxを標的とした新規心不全治療への展開	中田 康紀	循環器内科学	1,950,000	委	文部科学省
特定健診項目を用いた心不全早期診断アルゴリズムの開発	野木 一孝	循環器内科学	1,300,000	委	文部科学省
近位尿管におけるネプリライシンの存在意義と急性・慢性の腎障害に対する予防効果	西本 雅俊	腎臓内科学	1,300,000	委	文部科学省
包括的凝固線溶解析を基盤とする播種性血管内凝固とCOVID-19の治療戦略の構築	大西 智子	臨床研修センター	1,820,000	委	文部科学省
BRAF変異大腸癌におけるCD200発現の意義とCD200抗体による治療法の開発	岩佐 陽介	がんゲノム・腫瘍内科学	1,950,000	委	文部科学省
糖化HMGB1の消化器癌における役割の検討	西口 由希子	分子病理学	1,690,000	委	文部科学省
生体吸収性ステントによる消化管縫合不全の新規治療法開発を目指した基礎的研究	尾原 伸作	中央内視鏡部	1,690,000	委	文部科学省
胆膵癌における治療抵抗性獲得機序の解明とその克服による新規集学的治療法の開発	中川 顕志	消化器・総合外科学	1,300,000	委	文部科学省
侵害受容刺激モニターによる手術侵襲度評価の妥当性・バイオマーカーを用いた検討	田中 暢洋	麻酔科学	520,000	委	文部科学省
TIGITノックアウトヒトNK細胞を用いた膠芽腫に対する新規治療法の開発	森本 堯之	脳神経外科学	1,820,000	委	文部科学省
肩鎖関節脱臼における肩鎖、烏口鎖骨靭帯の生体力学的研究	倉田 慎平	地域医療学講座	1,170,000	委	文部科学省
人工肩関節置換術後における有限要素法を用いた上腕骨応力変化の検討	井上 和也	整形外科科学	650,000	委	文部科学省
膀胱での尿再吸収機構と夜尿症の病態解明を目指した基礎研究	森澤 洋介	泌尿器科学	2,210,000	委	文部科学省
低リノール酸環境マウスとLPA1受容体ノックアウトマウスの下部尿路機能の変化	後藤 大輔	泌尿器科学	910,000	委	文部科学省
漿液性卵巣癌における卵管採前癌病変の発癌機序解明	杉本 澄美玲	産婦人科学	1,300,000	委	文部科学省
敗血症性ショックにおける2-AGIによる末梢循環の新規分子機構の解明	勇井 克也	法医学	1,300,000	委	文部科学省
中鎖脂肪酸を用いたがん性サルコペニア治療の臨床応用の検討	後藤 桂	分子病理学	1,690,000	委	文部科学省
中間悪性度骨腫瘍に対する免疫チェックポイント分子発現を基盤とした新規治療戦略	塚本 真治	整形外科科学	3,900,000	委	文部科学省
シングルセル解析による咽頭遠位型ミオパチーの分子病態解明の試み	江浦 信之	脳神経内科学	2,860,000	委	文部科学省
イメージング質量分析を用いたLEN先行TACEの薬剤分布評価と治療マーカーの探索	太地 良佑	総合画像診断センター	2,470,000	委	文部科学省
包括的血液凝固解析による小児特発性ネフローゼ症候群の血液凝固病態の解明	石川 智朗	小児科学	1,170,000	委	文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				委	委託元
心臓MRIを用いた心筋エントロピーの有用性:左室駆出率が保たれた心不全の予後予測	妹尾 絢子	循環器内科学	3,120,000	委	文部科学省
癌幹細胞における免疫チェックポイント阻害剤耐性機構の解明	大田 正秀	がんゲノム・腫瘍内科学	1,950,000	委	文部科学省
脂肪由来間葉系幹細胞の多分化能を活用したCOPDの新規治療戦略	藤岡 伸啓	呼吸器内科学	1,820,000	委	文部科学省
CKD-MBDにおけるOsteoclast-associated receptor (OSCAR)の役割の検討	孤杉 公啓	腎臓内科学	1,690,000	委	文部科学省
HHV-6持続感染に着目したDIHSの病態解明および自己免疫疾患発症機序の解明	西村 友紀	皮膚科学	2,080,000	委	文部科学省
病原体を考慮した敗血症性脳症のマウスモデルの確立と病態解明	今北 菜津子	感染症センター	1,300,000	委	文部科学省
呼吸器ウイルス感染症の発症および重症化におけるFOXO1シグナル伝達経路の機能解明	古川 龍太郎	免疫学	1,820,000	委	文部科学省
トリプルネガティブ乳癌におけるCD70発現の意義の解明と新規免疫療法の開発	横谷 倫世	消化器・総合外科学	1,300,000	委	文部科学省
E3ユビキチンリガーゼを介した胃癌進展機序の包括的解明と新規治療戦略の開発	中出 裕士	消化器・総合外科学	1,690,000	委	文部科学省
入院前のオレキシン受容体拮抗薬の投与が入院後の睡眠と術後回復に及ぼす影響	位田 みつる	中央手術部	1,040,000	委	文部科学省
頸動脈プラークに対するスタチンはプラークを安定させるか—NIRSによる分布の変化	木次 将史	脳神経外科学	2,210,000	委	文部科学省
頸椎症性脊髄症の痺れの可視化	川崎 佐智子	整形外科	1,430,000	委	文部科学省
関節リウマチに対する滑膜組織を用いた分子標的薬選択の最適化に関する研究	原 良太	整形外科	1,950,000	委	文部科学省
腎移植におけるタクロリムス代謝・吸収と腸内細菌叢の関連解析	堀 俊太	泌尿器科学	2,600,000	委	文部科学省
Lactobacillusは本当に味方か?—胎盤形成における浸潤抑制性Lactobacillus属の同定	竹田 善紀	産婦人科学	1,560,000	委	文部科学省
ラットを用いた骨導超音波知覚の解明と耳鳴に対する治療の基礎研究	横田 尚弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,040,000	委	文部科学省
多能性幹細胞から前庭有毛細胞の特異的分化誘導と培養前庭による細胞移植再生の試み	阪上 雅治	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,470,000	委	文部科学省
市民によるAED等の一次救命処置を早期に実施させるための口頭指導法の確立	浅井 英樹	救急医学	1,040,000	委	文部科学省
在宅医療における多職種協働によるケアの実態把握とアウトカム評価	次橋 幸男	公衆衛生学	910,000	委	文部科学省
死亡票・死亡個票を用いたレセプトデータベースにおける死因確定ロジックの開発	明神 大也	公衆衛生学	1,170,000	委	文部科学省
住環境温湿度・皮膚温・脈拍変動の連続測定データを用いた高齢者熱中症予防法の開発	田井 義彬	疫学・予防医学	1,430,000	委	文部科学省
レセプトビッグデータを用いた機能性副腎腫瘍における骨粗鬆症、脆弱骨折の病態解明	中島 拓紀	糖尿病・内分泌内科学	1,950,000	委	文部科学省
がん性サルコペニアにおける中鎖脂肪酸食とケトン体食の骨格筋保護作用の比較	宮川 良博	分子病理学	1,430,000	委	文部科学省
平衡障害の分類によるテラーメイド前庭リハビリテーションの開発	塩崎 智之	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	2,600,000	委	文部科学省
ミトコンドリアDNA障害が誘導するがん性悪液質の機序解明	森 夕莉	分子病理学	2,600,000	委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規発光刺激電極による半視野刺激視覚誘発電位モニタリング装置の開発	高谷 恒範	中央手術部	3,640,000	委	文部科学省
B細胞機能障害に着目したCOPD増悪の炎症病態の解析	谷村 和哉	呼吸器内科学	1,430,000	委	文部科学省
後根神経節の長鎖ノンコーディングRNAを標的とした糖尿病末梢神経障害の治療開発	小林 正樹	脳神経内科学	1,430,000	委	文部科学省
住血吸虫症の感染防御を目指した複数抗原型免疫の確立と横断的抗原探索	三須 政康	病原体・感染防御医学	1,430,000	委	文部科学省
切除可能膵癌予後予測を目的としたmiRNA-ctDNA複合リキッドバイオプシーの構築	中村 広太	消化器・総合外科学	1,300,000	委	文部科学省
地理情報システムを用いた院外心肺停止に対する病院前医療の有効な地域の地図の作成	木下 有紗	救急医学	780,000	委	文部科学省
マイクロRNAの標的化によるがん性サルコペニアの克服における基礎的研究	緒方 瑠衣子	分子病理学	1,430,000	委	文部科学省
血友病A治療を目指した血液凝固第VIII因子産生共培養細胞シートの開発と応用	小野寺 悠	血栓止血先端医学	800,000	委	文部科学省
リソファジーの新規評価系の開発及び分子機構の解明	志摩 喬之	生化学	1,430,000	委	文部科学省

小計 9

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計 409

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Nakamichi N, Shiozaki T, Sakagami M, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Differences in semicircular canal function in the video head impulse test in patients in the chronic stage of sudden sensorineural hearing loss with vertigo and vestibular neuritis.	Acta Otolaryngol , 2024 Feb	Journal Article
2	Nakamura T, Watanabe M, Sugiura J, et al	循環器内科	Prognostic impact and predictors of persistent renal dysfunction in acute kidney injury after percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction.	Sci Rep , 2024 Mar	Journal Article
3	Nishimura N, Miyake M, Iida K, et al	泌尿器科	Treatment patterns and prognosis in patients with Bacillus Calmette–Guérin–exposed high–risk non–muscle invasive bladder cancer: a real–world data analysis.	World J Urol , 2024 Mar	Journal Article
4	Suzuki J, Namisaki T, Takya H, et al	消化器・代謝内科	ADAMTS–13: A Prognostic Biomarker for Portal Vein Thrombosis in Japanese Patients with Liver Cirrhosis.	Int J Mol Sci , 2024 Feb	Journal Article
5	Morimoto T, Nakazawa T, Maeoka R, et al	脳神経外科	Bulk RNA sequencing reveals the comprehensive genetic characteristics of human cord blood–derived natural killer cells.	Regen Ther , 2024 Mar	Journal Article
6	Shimizu T, Miyake M, Nishimura N, et al	泌尿器科	Impact of Complete Surgical Resection of Metastatic Lesions in Patients with Advanced Renal Cell Carcinoma in the Era of Tyrosine Kinase Inhibitors and Immune Checkpoint Inhibitors.	Cancers (Basel) , 2024 Feb	Journal Article
7	Takada R, Toritsuka M, Yamauchi T, et al	精神科	Granulocyte macrophage colony–stimulating factor–induced macrophages of individuals with autism spectrum disorder adversely affect neuronal dendrites through the secretion of pro–inflammatory cytokines.	Mol Autism , 2024 Feb	Journal Article
8	Nakase K, Nishimura F, Yokoyama S, et al	脳神経外科	Long–term outcomes and potential predictive recurrence factors after endonasal endoscopic surgical treatment of symptomatic Rathke’s cleft cysts.	Neurosurg Rev , 2024 Feb	Journal Article
9	Kyodo A, Nakada Y, Nogi M, et al	循環器内科	Evaluation of the A(2)B Score for Prediction of Survival in Patients With Heart Failure in a Nationwide Cohort in Japan.	J Am Heart Assoc , 2024 Feb	Journal Article
10	Suzuka T, Tanaka N, Kadoya Y, et al	麻酔科	Comparison of Quality of Recovery between Modified Thoracoabdominal Nerves Block through Perichondrial Approach versus Oblique Subcostal Transversus Abdominis Plane Block in Patients Undergoing Total Laparoscopic Hysterectomy: A Pilot Randomized Controlled Trial.	J Clin Med , 2024 Jan	Journal Article
11	Kawakami M, Ueda N, Yamaki K, et al	歯科口腔外科	Effectiveness of intraoral stents in reducing oral adverse events during radiotherapy for maxillary or nasal cavity malignant tumors.	Support Care Cancer , 2024 Feb	Journal Article
12	Fujimura S, Omokawa S, Hasegawa H, et al	輸血部	Arthroscopy–Assisted Surgery for Trapeziometacarpal Osteoarthritis.	J Hand Surg Asian Pac Vol , 2024 Feb	Journal Article
13	Tsukamoto S, Mavrogenis AF, Nitta Y, et al	整形外科	A Systematic Review of Adjuvant Chemotherapy in Localized Dedifferentiated Chondrosarcoma.	Curr Oncol , 2024 Jan	Journal Article
14	Akahori T, Terai T, Nagai M, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Total neoadjuvant therapy improves survival of patients with borderline resectable pancreatic cancer with arterial involvement.	Ann Gastroenterol Surg , 2024 Jan	Journal Article
15	Mano T, Iguchi N, Eura N, et al	脳神経内科	Electromyography varies by stage in inclusion body myositis.	Front Neurol , 2024 Jan	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
16	Matsuda R, Hasegawa M, Tamamoto T, et al	脳神経外科	Clinical Results and Hematologic Predictors of Linear Accelerator-Based Stereotactic Radiosurgery or Fractionated Stereotactic Radiotherapy for Brain Metastasis in Patients Aged 75 Years or Older: A Retrospective Study.	World Neurosurg , 2024 Mar	Journal Article
17	Asada S, Namisaki T, Kaji K, et al	消化器・代謝内科	VWF/ADAMTS13 Ratio as a Potential Predictive Biomarker for Acute Kidney Injury Onset in Cirrhosis.	Dig Dis Sci , 2024 Mar	Journal Article
18	Nakagawa T, Ogiwara K, Tonegawa H, et al	小児科	Anticoagulant effects of protein C, protein S, and antithrombin levels on the protein C pathway in young children.	Int J Hematol , 2024 Feb	Journal Article
19	Hirai S, Ida M, Kinugasa Y, et al	麻酔科	Association between preoperative frailty and surgical Apgar score in abdominal cancer surgery: a secondary analysis of a prospective observational study.	JA Clin Rep , 2024 Jan	Journal Article
20	Inoue T, Ichikawa K, Hara T, et al	中央放射線部	Validating computer applications for calculating spatial resolution and noise property in CT using simulated images with known properties.	Radiol Phys Technol , 2024 Mar	Journal Article
21	Kotsugi M, Nakagawa I, Sasaki H, et al	脳神経外科	Thin Calcification Predicts Lipid Component in Carotid Plaque—Relationship Between Lipid Distribution and Thin Calcification.	World Neurosurg , 2024 Mar	Journal Article
22	Inoue K, Hori S, Tomizawa M, et al	泌尿器科	Detailed Cause of Donor Ineligibility in Living Donor Kidney Transplants: A Retrospective, Single-Center Cohort Study.	Transplant Proc , 2024 Jan	Journal Article
23	Matsuoka K, Hirata K, Kokubo N, et al	精神科	Investigating neural dysfunction with abnormal protein deposition in Alzheimer's disease through magnetic resonance spectroscopic imaging, plasma biomarkers, and positron emission tomography.	Neuroimage Clin , 2023 Dec	Journal Article
24	Masunaga T, Tsukamoto S, Nitta Y, et al	整形外科	Is perioperative chemotherapy effective in patients with localized myxoid liposarcoma?	Jpn J Clin Oncol , 2024 Mar	Journal Article
25	Kanaoka K, Nishida T, Iwanaga Y, et al	公衆衛生学講座	Oral anticoagulation after atrial fibrillation catheter ablation: benefits and risks.	Eur Heart J , 2024 Feb	Journal Article
26	Nakajima Y, Ogiwara K, Inaba K, et al	小児科	NXT007-mediated hemostatic potential is suppressed by activated protein C-catalyzed inactivation of activated factor V.	Res Pract Thromb Haemost , 2024 Jan	Journal Article
27	Nogami K, Fujii T, Sawada A, et al	小児科	Association of physical activity with bleeding events and safety in patients with haemophilia A starting emicizumab prophylaxis: an interim analysis of the TSBASA study.	Int J Hematol , 2024 Jan	Journal Article
28	Nishiyama T, Tsujinaka H, Ueda T, et al	眼科	Alteration in Melanin Content in Retinal Pigment Epithelial Cells upon Hydroquinone Exposure.	Int J Mol Sci , 2023 Nov	Journal Article
29	Yaoi H, Shida Y, Ogiwara K, et al	小児科	Hemostatic potential of recombinant von Willebrand factor and standard or pegylated extended half-life recombinant factor VIII on thrombus formation under high shear flow.	Thromb J , 2023 Dec	Journal Article
30	Miyake M, Nishimura N, Oda Y, et al	泌尿器科	Enfortumab vedotin following platinum-based chemotherapy and immune checkpoint inhibitors for advanced urothelial carcinoma: response, survival and safety analysis from a multicentre real-world Japanese cohort.	Jpn J Clin Oncol , 2024 Mar	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
31	Iemura Y, Miyake M, Fukui S, et al	泌尿器科	Depth of invasion to the bladder wall as a prognostic factor and its association with circulating cell-free DNA levels in patients with muscle-invasive bladder cancer.	Curr Urol, 2023 Dec	Journal Article
32	Doi S, Yasuda S, Matsuo Y, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Clinical impact of sarcopenia in early-stage intrahepatic recurrent hepatocellular carcinoma: an association with impaired host immunity.	Langenbecks Arch Surg, 2023 Nov	Journal Article
33	Masuda K, Shigematsu H, Maeda M, et al	救急科	Ultrasound-guided disc pain induction test for diagnosis of discogenic lumbar pain: a cross-sectional study.	J Orthop Surg Res, 2023 Nov	Journal Article
34	Kamitani F, Nishioka Y, Koizumi M, et al	糖尿病・内分泌内科	Antithyroid drug-induced leukopenia and G-CSF administration: a long-term cohort study.	Sci Rep, 2023 Nov	Journal Article
35	Morizawa Y, Aoki K, Fukui S, et al	泌尿器科	Assessment of diagnostic accuracy for cryptorchidism and risk factors for delayed orchidopexy.	Int J Urol, 2024 Feb	Journal Article
36	Tsukamoto S, Aiba H, Zuccheri F, et al	整形外科	Reoperation after surgery for bone metastasis of renal cell carcinoma.	J Surg Oncol, 2024 Mar	Journal Article
37	Nakajima Y, Nogami K	小児科	The role of proteolytic cleavage at Arg(336) and Arg(372) of the A1 domain in factor VIIa/tissue factor-catalyzed reactions of B domain-deleted factor VIII.	Biochim Biophys Acta Gen Subj, 2024 Jan	Journal Article
38	Uemura T, Nishimoto M, Eriguchi M, et al	腎臓内科	Utility of serum 硫2-microglobulin for prediction of kidney outcome among patients with biopsy-proven diabetic nephropathy.	Diabetes Obes Metab, 2024 Feb	Journal Article
39	Terai T, Nagai M, Nakamura K, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Combination of carbohydrate antigen 19-9 level and tumor size after neoadjuvant chemoradiation therapy may predict early recurrence of resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.	Pancreatol, 2023 Dec	Journal Article
40	Miyake M, Nishimura N, Nishioka Y, et al	泌尿器科	Clinical impact of the intensity of follow-up cystoscopy in patients with high-risk non-muscle-invasive bladder cancer.	Int Urol Nephrol, 2024 Mar	Journal Article
41	Fujimaki T, Kurokawa H, Ueno Y, et al	整形外科	Assessment of Changes in Hindfoot Alignment of Total Ankle Arthroplasty for Ankle Osteoarthritis on Weightbearing Subtalar X-ray View.	Foot Ankle Orthop, 2023 Oct	Journal Article
42	Tanaka M, Akahane T, Kawaratani H, et al	消化器・代謝内科	Effects of entecavir and tenofovir alafenamide fumarate treatment on renal function in Japanese elderly patients with chronic hepatitis B.	Hepatol Res, 2024 Mar	Journal Article
43	Kawahara N, Yamanaka S, Sugimoto S, et al	産婦人科	The Prognosis Predictive Score around Neo Adjuvant Chemotherapy (PPSN) Improves Diagnostic Efficacy in Predicting the Prognosis of Epithelial Ovarian Cancer Patients.	Cancers (Basel), 2023 Oct	Journal Article
44	Uchida Y, Takahashi Y, Kurata C, et al	NICU	Urinary lumirubin excretion in jaundiced preterm neonates during phototherapy with blue light-emitting diode vs. green fluorescent lamp.	Sci Rep, 2023 Oct	Journal Article
45	Seriu N, Tsukamoto S, Ishida Y, et al	リハビリテーション科	Influences of comorbidities on perioperative rehabilitation in patients with gastrointestinal cancers: a retrospective study.	World J Surg Oncol, 2023 Oct	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
46	Hori S, Tomizawa M, Yoneda T, et al	泌尿器科	Chronological Changes in Emotional Status and Vaccine Implementation Rate Among Patients on the Waiting List for Deceased-Donor Kidney Transplantation During the Prolonged COVID-19 Pandemic.	Transplant Proc , 2023 Dec	Journal Article
47	Fujiwara A, Watanabe K, Shigematsu H, et al	麻酔科	Does a Positive Response to Transforaminal Epidural Steroid Injection Identify Patients Who Can Avoid Surgery for Two Years?	Pain Res Manag , 2023 Oct	Journal Article
48	Kawaguchi R, Maehana T, Yamanaka S, et al	産婦人科	Preoperative serum tissue factor pathway inhibitor level as a prognostic marker for endometrial cancer.	Oncol Lett , 2023 Nov	Journal Article
49	Gotoh D, Torimoto K, Onishi K, et al	泌尿器科	Utility of a penile compression device for the quality of life in male patients with urinary incontinence after prostatectomy (the MORE study): a randomized prospective study.	BMC Res Notes , 2023 Oct	Journal Article
50	Nakai Y, Tanaka N, Inoue T, et al	泌尿器科	Quality of life after non-nerve-sparing, robot-assisted radical prostatectomy.	Asia Pac J Clin Oncol , 2024 Feb	Journal Article
51	Masunaga T, Tsukamoto S, Honoki K, et al	整形外科	Comparison of pre-operative and post-operative radiotherapy in patients with localized myxoid liposarcoma.	Jpn J Clin Oncol , 2023 Dec	Journal Article
52	Nakanishi Y, Shinkuma S, Mitsui Y, et al	皮膚科	Ultrasonographic findings in nevus lipomatosus cutaneous superficialis: What differentiates this tumor from other soft tissue tumors?	J Dermatol , 2024 Jan	Journal Article
53	Shimonishi N, Sasai K, Ogiwara K, et al	小児科	Longitudinal dynamic changes in factor VIII inhibitor titers in patients with hemophilia A and inhibitors receiving emicizumab prophylaxis.	Int J Hematol , 2023 Dec	Journal Article
54	Terai T, Kawai M, Kitahata Y, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Central pancreatectomy might be an acceptable surgical procedure for clinical T1 pancreatic body ductal adenocarcinoma: A multicenter retrospective analysis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci , 2023 Dec	Journal Article
55	Doi S, Yasuda S, Hokuto D, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Impact of the Prolonged Intermittent Pringle Maneuver on Post-Hepatectomy Liver Failure: Comparison of Open and Laparoscopic Approaches.	World J Surg , 2023 Dec	Journal Article
56	Sawabata N, Morita K, Tatsumi S, et al	呼吸器外科	A Novel Filtration Membrane for Clustered Circulating Tumor Cell Extraction: A Prospective Feasibility Study.	Anticancer Res , 2023 Oct	Journal Article
57	Kitamura S, Matsuoka K, Takahashi M, et al	精神科	Association of adverse childhood experiences and cortical neurite density alterations with posttraumatic stress disorder symptoms in autism spectrum disorder.	Front Psychiatry , 2023 Sep	Journal Article
58	Kawai Y, Yamamoto K, Miyazaki K, et al	救急科	Machine learning-based analysis of regional differences in out-of-hospital cardiopulmonary arrest outcomes and resuscitation interventions in Japan.	Sci Rep , 2023 Sep	Journal Article
59	Jimura H, Yoshikawa T, Obayashi K, et al	眼科	Post-Illumination Pupil Response and Sleep Quality in Patients With Glaucoma: The LIGHT Study.	Invest Ophthalmol Vis Sci , 2023 Sep	Journal Article
60	Torimoto K, Ueda T, Gotoh D, et al	泌尿器科	Serum anandamide and lipids associated with linoleic acid can distinguish interstitial cystitis/bladder pain syndrome from overactive bladder: An exploratory study.	Low Urin Tract Symptoms , 2023 Nov	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
61	Nakamura K, Nagai M, Matsumoto I, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Impact of antithrombotic therapy on postpancreatectomy hemorrhage in 7116 patients: A project study by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci , 2023 Oct	Journal Article
62	Eura N, Noguchi S, Ogasawara M, et al	脳神経内科	Characteristics of the muscle involvement along the disease progression in a large cohort of oculopharyngodistal myopathy compared to oculopharyngeal muscular dystrophy.	J Neurol , 2023 Dec	Journal Article
63	Moriya K, Nakakita T, Nakayama N, et al	消化器・代謝内科	SARS-CoV-2 Vaccination Response in Japanese Patients with Autoimmune Hepatitis: Results of Propensity Score-Matched Case-Control Study.	J Clin Med , 2023 Aug	Journal Article
64	Tsujinaka H, Saeki K, Obayashi K, et al	眼科	Positive Association between Macular Pigment Optical Density and Glomerular Filtration Rate: A Cross-Sectional Study.	J Clin Med , 2023 Aug	Journal Article
65	Kinugawa K, Mano T, Fujimura S, et al	脳神経内科	Bradykinesia and rigidity modulated by functional connectivity between the primary motor cortex and globus pallidus in Parkinson's disease.	J Neural Transm (Vienna) , 2023 Dec	Journal Article
66	Nishimura N, Miyake M, Nakahama T, et al	泌尿器科	Impact on Japanese healthcare economics of photodynamic diagnosis-assisted transurethral resection of bladder tumor for non-muscle invasive bladder cancer: A multicenter retrospective cohort study.	Int J Urol , 2023 Dec	Journal Article
67	Tasaki H, Eriguchi M, Yoshida H, et al	腎臓内科	Synergistic effect of proteinuria on dipstick hematuria-related decline in kidney function: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study.	Clin Exp Nephrol , 2023 Dec	Journal Article
68	Kotsugi M, Nakagawa I, Konishi K, et al	脳神経外科	Three-dimensional reconstruction imaging by C-arm computed tomography accurately visualizes in-stent neointimal formation in patients with stent-assisted coil embolization.	Front Neurol , 2023 Aug	Journal Article
69	Kobayashi H, Imanaka S	産婦人科	Understanding Ultrasound Features that Predict Symptom Severity in Patients with Adenomyosis: a Systematic Review.	Reprod Sci , 2024 Feb	Journal Article
70	Mano T, Iguchi N, Iwasa N, et al	脳神経内科	Challenges in evaluating forearm muscle activity based on the compound muscle action potential of the flexors of the whole forearm.	Clin Neurophysiol Pract , 2023 Jun	Journal Article
71	Otsuka N, Kawanishi Y, Doi F, et al	精神科	Diagnosing psychiatric disorders from history of present illness using a large-scale linguistic model.	Psychiatry Clin Neurosci , 2023 Nov	Journal Article
72	Wang X, Ida M, Uyama K, et al	麻酔科	Impact of different doses of remifentanyl on chronic postsurgical pain after video-assisted thoracic surgery: A propensity score analysis.	Medicine (Baltimore) , 2023 Jul	Journal Article
73	Imazu Y, Nishiwada S, Yasuda S, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Identification of Nectin Family Interactive Gene Panel and Stratification of Clinical Outcomes in Patients with Pancreatic Cancer.	J Am Coll Surg , 2023 Nov	Journal Article
74	Hori S, Tomizawa M, Inoue K, et al	泌尿器科	Clinical impact of catheter insertion for peritoneal dialysis on patient survival and catheter-related complications.	Clin Exp Nephrol , 2023 Nov	Journal Article
75	Ueda N, Zaizen M, Imai Y, et al	歯科口腔外科	Measurement of Thickness at the Inferior Border of the Mandible Using Computed Tomography Images: A Retrospective Study including 300 Japanese Cases.	Tomography , 2023 Jun	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
76	Takaya H, Ueyama S, Osaki Y, et al	消化器・代謝内科	Aspartate aminotransferase to platelet ratio index has utility as a biomarker of COVID-19 severity in patients with nonalcoholic fatty liver disease.	Hepato Res , 2023 Nov	Journal Article
77	Ishii H, Kamei N, Shimono D, et al	医師・患者関係学	Treatment Burden on Once-Weekly Omarigliptin Versus Daily Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors in Patients with Type 2 Diabetes: Randomized Controlled Trial (ONWARD-DPP4 Study).	Diabetes Ther , 2023 Oct	Journal Article
78	Kosugi T, Eriguchi M, Yoshida H, et al	腎臓内科	Trace proteinuria detected via dipstick test is associated with kidney function decline and new-onset overt proteinuria: the Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study.	Clin Exp Nephrol , 2023 Oct	Journal Article
79	Ueda T, Koyama F, Sugita A, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Endoscopic Lesions of Postoperative Anastomotic Area in Patients With Crohn's Disease in the Biologic Era: A Japanese Multi-Centre Nationwide Cohort Study.	J Crohns Colitis , 2023 Dec	Journal Article
80	Moriya K, Sato S, Nishimura N, et al	消化器・代謝内科	Efficacy of Serum Ferritin-Zinc Ratio for Predicting Advanced Liver Fibrosis in Patients with Autoimmune Hepatitis.	J Clin Med , 2023 Jul	Journal Article
81	Shibamoto A, Namisaki T, Suzuki J, et al	消化器・代謝内科	Hemoglobin and Endotoxin Levels Predict Sarcopenia Occurrence in Patients with Alcoholic Cirrhosis.	Diagnostics (Basel) , 2023 Jun	Journal Article
82	Nishimura Y, Inagaki Y, Noda T, et al	整形外科	Risk factors for mortality after hip fracture surgery in Japan using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan.	Arch Osteoporos , 2023 Jul	Journal Article
83	Tanaka A, Uemura H, Kimura T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Evaluation of usefulness of tongue pressure measurement device for dysphagia associated with treatment of patients with head and neck cancer (ELEVATE).	Medicine (Baltimore) , 2023 Jun	Journal Article
84	Nishimoto M, Murashima M, Kokubu M, et al	腎臓内科	The use of anti-adrenergic agents as a predictor of acute kidney injury and delayed recovery of kidney function: the NARA-AKI cohort study.	Hypertens Res , 2023 Nov	Journal Article
85	Takeshima Y, Takami H, Endo T, et al	脳神経外科	Comparison of the Recurrence and Surgical Outcome of Spinal Hemangioblastoma in Sporadic and Von Hippel-Lindau Diseases: A Subanalysis of a Nationwide Study by the Neurospinal Society of Japan.	Neurospine , 2023 Sep	Journal Article
86	Tanimura K, Nouraie SM, Chandra D, et al	医学部	Pulmonary comorbidities in psoriasis are associated with a high risk of respiratory failure.	J Int Med Res , 2023 Jun	Journal Article
87	Kurokawa H, Taniguchi A, Ueno Y, et al	整形外科	Risk Factors for the Progression of Varus Ankle Osteoarthritis.	Foot Ankle Orthop , 2023 Apr	Journal Article
88	Nomi T, Kaibori M, Hirokawa F, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Effect of laparoscopic liver resection on postoperative delirium in elderly patients with hepatocellular carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci , 2023 Sep	Journal Article
89	Nagai M, Nakamura K, Terai T, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Significance of multiple tumor markers measurements in conversion surgery for unresectable locally advanced pancreatic cancer.	Pancreatology , 2023 Sep	Journal Article
90	Soyama S, Mano T, Kido A	リハビリテーション科	FEASIBILITY STUDY ON SWALLOWING TELEREHABILITATION IN PATIENTS WITH CORONAVIRUS DISEASE 2019.	J Rehabil Med Clin Commun , 2023 Jun	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
91	Kadoya Y, Tanaka N, Suzuka T, et al	麻酔科	Anterior Quadratus Lumborum Block and Quadriceps Strength: A Prospective Cohort Study.	J Clin Med , 2023 Jun	Journal Article
92	Nakagawa I, Kotsugi M, Yokoyama S, et al	脳神経外科	Parenchymal Blood Volume Changes Immediately After Endovascular Thrombectomy Predict Futile Recanalization in Patients with Emergent Large Vessel Occlusion.	World Neurosurg , 2023 Aug	Journal Article
93	Fujiwara A, Watanabe K, Yoshimura K, et al	麻酔科	Correlation between pain catastrophizing in acute herpes zoster and postherpetic neuralgia: a retrospective analysis.	J Anesth , 2023 Aug	Journal Article
94	Kitamura S, Kimura Y, Takahata K, et al	精神科	Serotonergic Neurotransmission in Limbic Regions May Reflect Therapeutic Response of Depressive Patients: A PET Study With 11C-WAY-100635 and 18F-MPPF.	Int J Neuropsychopharmacol , 2023 Jul	Journal Article
95	Kawaguchi R, Maehana T, Sugimoto S, et al	産婦人科	Immunohistochemical Analysis of the Tissue Factor Pathway Inhibitor-2 in Endometrial Clear Cell Carcinoma: A Single-center Retrospective Study.	Int J Gynecol Pathol . 2024 Jan	Journal Article
96	Nogi K, Yamamoto R, Ueda T, et al	循環器内科	Derivation and validation of a clinical predictive model of NT-proBNP 瘍 $\tau$ 25 痙 $\cdot$ g/mL to detect pre-heart failure.	J Cardiol , 2023 Dec	Journal Article
97	Moriya K, Saeki K, Nishimura N, et al	消化器・代謝内科	Zinc Supplementation and an Improved Quality of Life in Patients with Autoimmune Hepatitis.	Intern Med , 2024 Jan	Journal Article
98	Saito N, Nishiofuku H, Sato T, et al	放射線・核医学科	Predictive Factors of Complete Response to Transarterial Chemoembolization in Intermediate Stage Hepatocellular Carcinoma beyond Up-To-7 Criteria.	Cancers (Basel) . 2023 May	Journal Article
99	Miyake M, Nishimura N, Ohnishi S, et al	泌尿器科	Diagnostic and Prognostic Roles of Urine Nectin-2 and Nectin-4 in Human Bladder Cancer.	Cancers (Basel) , 2023 Apr	Journal Article
100	Kanaoka K, Iwanaga Y, Nakai M, et al	公衆衛生学講座	Sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor use in early-phase acute coronary syndrome with severe heart failure.	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother , 2023 Jul	Journal Article
101	Kinugasa Y, Ida M, Nakatani S, et al	麻酔科	Quality of recovery in hospital and disability-free survival at three months after major abdominal surgery.	Korean J Anesthesiol , 2023 Dec	Journal Article
102	Sakaguchi K, Yoshikawa M, Fujita Y, et al	呼吸器内科	Serum Free Radical Scavenging Capacity Profiles of Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis , 2023 Apr	Journal Article
103	Kinugasa Y, Ida M, Nakatani S, et al	麻酔科	Effects of preoperative nutritional status on postoperative quality of recovery: a prospective observational study.	Br J Nutr , 2023 Dec	Journal Article
104	Yorioka N, Namisaki T, Shibamoto A, et al	消化器・代謝内科	Changes in Coagulation and Fibrinolytic Factors in Patients With Cirrhotic Refractory Ascites Undergoing Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy: A Retrospective Observational Study in Japan.	In Vivo , 2023 May	Journal Article
105	Yamakawa N, Nakayama Y, Ueda N, et al	歯科口腔外科	Volume-based 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography parameters correlate with delayed neck metastasis in clinical early-stage oral squamous cell carcinoma.	Oral Radiol , 2023 Oct	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
106	Kitahara T, Sakagami M, Inui H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Evaluation of changes in endolymphatic volume after middle ear pressure therapy for intractable meniere's disease using 3D magnetic resonance imaging.	Acta Otolaryngol , 2023 Apr	Journal Article
107	Tsukamoto S, Aiba H, Righi A, et al	整形外科	Giant cell tumor of bone with secondary aneurysmal bone cyst does not have a higher risk of local recurrence.	J Surg Oncol . 2023 Aug	Journal Article
108	Kyodo A, Kanaoka K, Keshi A, et al	循環器内科	Heart failure with preserved ejection fraction phenogroup classification using machine learning.	ESC Heart Fail , 2023 Jun	Journal Article
109	Shibamoto A, Namisaki T, Suzuki J, et al	消化器・代謝内科	Hemoglobin levels as a surrogate marker of sarcopenia in patients with liver cirrhosis.	Hepatol Res , 2023 Aug	Journal Article
110	Kotani T, Ida M, Inoue S, et al	麻酔科	Association between Preoperative Hand Grip Strength and Postoperative Delirium after Cardiovascular Surgery: A Retrospective Study.	J Clin Med . 2023 Apr	Journal Article
111	Mohri T, Okamoto S, Nishioka Y, et al	糖尿病・内分泌内科	Risk of Lactic Acidosis in Hospitalized Diabetic Patients Prescribed Biguanides in Japan: A Retrospective Total-Population Cohort Study.	Int J Environ Res Public Health . 2023 Mar	Journal Article
112	Tamura K, Sasaki R, Sakakibara T, et al	脳神経外科	Additional Effect of High-output Current and/or High-duty Cycle in Vagus Nerve Stimulation for Adolescent/Adult Intractable Epilepsy.	Neurol Med Chir (Tokyo) , 2023 Jul	Journal Article
113	Fujita H, Ueda K, Kageyama H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Relationship between stress levels and endolymphatic space volume in Meniere's disease.	Auris Nasus Larynx , 2023 Dec	Journal Article
114	Kawai Y, Kogeichi Y, Yamamoto K, et al	救急科	Explainable artificial intelligence-based prediction of poor neurological outcome from head computed tomography in the immediate post-resuscitation phase.	Sci Rep , 2023 Apr	Journal Article
115	Okazaki K, Miura K, Matsumoto J, et al	精神科	Discrimination in the clinical diagnosis between patients with schizophrenia and healthy controls using eye movement and cognitive functions.	Psychiatry Clin Neurosci . 2023 Jul	Journal Article
116	Nakamura T, Watanabe M, Nogi K, et al	循環器内科	Prevention of Contrast-Induced Nephropathy After Emergency Percutaneous Coronary Intervention With a Single Bolus Administration of High-Concentrate Sodium Bicarbonate: Rationale and Design of a Single-Arm Study Compared With Historical Controls.	Circ Rep , 2023 Apr	Journal Article
117	Miyake M, Nishimura N, Nakahama T, et al	泌尿器科	Additional oncological benefit of photodynamic diagnosis with blue light cystoscopy in transurethral resection for primary non-muscle-invasive bladder cancer: A comparative study from experienced institutes.	BJUI Compass , 2023 May	Journal Article
118	Phoowanulchai S, Ida M, Naito Y, et al	麻酔科	Persistent incisional pain at 1 year after craniotomy: a retrospective observational study.	BMC Anesthesiol , 2023 Apr	Journal Article
119	Akisada H, Hasegawa M, Ishihara T, et al	小児科	Endocrine late effects in survivors of infantile acute lymphoblastic leukemia.	Clin Pediatr Endocrinol , 2023 Apr	Journal Article
120	Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, et al	眼科	Circadian blood pressure variability and asymmetric dimethylarginine in patients with glaucoma: cross-sectional study of The LIGHT cohort.	J Hypertens , 2023 Jun	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
121	Kitamura S, Matsuoka K, Takahashi M, et al	精神科	Association of adverse childhood experience-related increase in neurite density with sensory over-responsivity in autism spectrum disorder: A neurite orientation dispersion and density imaging study.	J Psychiatr Res, 2023 May	Journal Article
122	Tomizawa M, Hori S, Nishimura N, et al	泌尿器科	Comprehensive Analysis of Donor Factors for Allograft Survival in Living Kidney Transplantation: A Single-Center Study in Japan.	Transplant Proc, 2023 May	Journal Article
123	Kawaguchi R, Maehana T, Yamada Y, et al	産婦人科	Verification of selective and individual pulmonary thromboembolism prophylaxes for cesarean delivery.	Obstet Gynecol Sci, 2023 May	Journal Article
124	Hori S, Torimoto K, Tomizawa M, et al	泌尿器科	Impact of Nocturnal Polyuria and Sleep Quality in Kidney Transplant Recipients With Nocturia.	Transplant Proc, 2023 May	Journal Article
125	Kosugi T, Eriguchi M, Yoshida H, et al	腎臓内科	Height loss is associated with decreased kidney function: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study.	Geriatr Gerontol Int, 2023 Apr	Journal Article
126	Masui T, Adachi S, Uemura H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Risk factors for the lateral cervical lymph node metastasis of papillary thyroid carcinoma: A clinical study.	Mol Clin Oncol, 2023 Apr	Journal Article
127	Nakai Y, Tanaka N, Asakawa I, et al	泌尿器科	Quality of life in patients who underwent robot-assisted radical prostatectomy compared with those who underwent low-dose-rate brachytherapy.	Prostate, 2023 May	Journal Article
128	Yamashita A, Kitahara T, Sakagami M, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Evaluation of changes in endolymphatic hydrops volume after medical treatments for Meniere's disease using 3D magnetic resonance imaging.	Auris Nasus Larynx, 2023 Oct	Journal Article
129	Shiozaki T, Okada Y, Nakamura J, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Relationships between changes in lateral vestibulospinal tract excitability and postural control by dynamic balance intervention in healthy individuals: A preliminary study.	Front Hum Neurosci, 2023 Jul	Journal Article
130	Masui T, Adachi S, Uemura H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Clinical Study on the Risk Factors for the Recurrence of Papillary Thyroid Carcinoma.	ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec, 2023 Apr	Journal Article
131	Shibasaki F, Takeyama M, Ogiwara K, et al	輸血部	High levels of factor VIII activity in patients with acquired hemophilia A in remission are associated with unusually low coagulation potentials.	Int J Hematol, 2023 May	Journal Article
132	Kanaoka K, Iwanaga Y, Nakai M, et al	公衆衛生学講座	Hospital- and Patient-Level Analysis of Quality Indicators in Acute Coronary Syndrome Care: A Nationwide Database Study.	Can J Cardiol, 2023 Apr	Journal Article
133	Ueda K, Ito T, Inui H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Effects of endolymphatic space volume on discrepancy of results between caloric test and video head impulse test.	Auris Nasus Larynx, 2023 Aug	Journal Article
134	Kanemoto M, Ida M, Naito Y, et al	麻酔科	The impact of preoperative nutrition status on abdominal surgery outcomes: A prospective cohort study.	Nutr Clin Pract, 2023 Jun	Journal Article
135	Kawaguchi T, Yoshikawa D, Nakai T, et al	心臓血管外科	Outcome of Resected Lung Cancers with Subcentimeter Solid Component on Computed Tomography.	Thorac Cardiovasc Surg, 2023 Apr	Journal Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
136	Hori S, Sakamoto K, Onishi K, et al	泌尿器科	Perioperative outcomes of open and robot-assisted partial nephrectomy in patients with renal tumors of moderate to high complexity.	Asian J Surg, 2023 Jun	Journal Article
137	Okayasu T, Kamakura T, Kitahara T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Temporal Bone Histopathology of Undiagnosed Dizziness in the Elderly.	Audiol Neurotol, 2023 Apr	Journal Article
138	Kurokawa H, Taniguchi A, Miyamoto T, et al	整形外科	What is the best way for an inexperienced surgeon to learn total ankle arthroplasty?	J Orthop Sci, 2023 Jul	Journal Article
139	Nakagawa I, Kotsugi M, Yokoyama S, et al	脳神経外科	Dual-layered stents reduce cerebral embolism compared with first-generation stents during carotid stenting of high lipid core plaque lesions.	J Neurointerv Surg, 2023 Dec	Journal Article
140	Miyamoto T, Otake Y, Nakao S, et al	整形外科	4D-foot analysis on effect of arch support on ankle, subtalar, and talonavicular joint kinematics.	J Orthop Sci, 2023 Nov	Journal Article
141	Nagai M, Wright MJ, Ding D, et al	消化器外科・小児外科・乳腺外科	Oncologic resection of pancreatic cancer with isolated liver metastasis: Favorable outcomes in select patients.	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2023 Aug	Journal Article
142	Murakami K, Yamamoto K, Kawakami M, et al	歯科口腔外科	Changes in strain energy density in the temporomandibular joint disk after sagittal split ramus osteotomy using a 3D-computed tomography-based finite element model.	J Orofac Orthop, 2024 Jul	Journal Article
143	Yamakawa N, Umeda M, Yoshii Y, et al	歯科口腔外科	Multicenter retrospective study of nivolumab for recurrent/metastatic oral squamous cell carcinoma.	Oral Dis, 2024 Mar	Journal Article
144	Okada F, Takeda M, Fujii T, et al	病理診断科	Clinicopathological and genetic analyses of pulmonary enteric adenocarcinoma.	J Clin Pathol, 2024 Jan	Journal Article
145	Yoneda A, Fujii H, Tanaka Y	整形外科	Location of the ovaries in children and efficacy of gonadal shielding in hip and pelvis radiography.	J Orthop Sci, 2023 Sep	Journal Article

小計10件  
合計145件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌2に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の構成、責務、審査とその判定、審査書類の準備と手続き、事務局業務について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、適用範囲、利益相反管理委員会、自己申告書の提出、委員会における審査等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 2 回
・ 研修の主な内容 臨床研究法その他適用法令等に基づき行われる臨床研究の実施の際に必要な倫理的知識等の習得（適用法令の概要、被験者保護、統計解析、知財等）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科が総合的な臨床力を重視するとともにさまざまな専門医養成コースを準備しており、複数科連携プログラムも稼働している。このため各人がそれぞれのニーズに合わせてキャリアデザインを組むことが可能となっている。  
内科各科の連携は密接で内科合同カンファレンスを定期的で開催するとともに、総合内科専門医養成コースを設けている。  
さらに、附属病院として、緩和ケアを含むがん薬物療法および放射線治療に関する知識・技術を修得した総合的ながん専門医を養成するためのプログラムを策定し、「がん薬物療法専門医」養成コースも設けている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	41 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
彦惣 俊吾	循環器内科	教授	28年	
室 繁郎	呼吸器・アレルギー	教授	35年	
吉治 仁志	消化器・代謝内科	教授	37年	
杉江 和馬	脳神経内科	教授	29年	
庄 雅之	消化器外科・小児外科・乳腺外科	教授	33年	
中川 一郎	脳神経外科	教授	27年	
細野 光治	心臓血管外科	教授	29年	
田中 康仁	整形外科	教授	40年	リウマチ科も兼ねる
木村 文則	産婦人科	教授	27年	
上田 哲生	眼科	准教授	26年	
野上 恵嗣	小児科	教授	33年	
岡田 俊	精神科	教授	27年	
浅田 秀夫	皮膚科	教授	40年	
藤本 清秀	泌尿器科	教授	37年	
北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	32年	内分泌外科も兼ねる
田中 利洋	放射線・核医学科	教授	28年	
礪橋 文明	放射線治療科	教授	24年	
川口 昌彦	麻酔科	教授	36年	
吉本 清巳	総合診療科	教授	22年	リウマチ科も兼ねる
山川 延宏	歯科口腔外科	准教授	22年	
福島 英賢	救急科	教授	28年	
笠原 敬	感染制御内科	教授	25年	
桑原 理充	形成外科	病院教授	28年	
城戸 顕	リハビリテーション科	教授	33年	
吉澤 明彦	病理診断科	教授	27年	

濱路 政嗣	呼吸器外科	病院教授	23年
鶴屋 和彦	腎臓内科	教授	33年
高橋 裕	糖尿病・内分泌内科	教授	26年
武田 真幸	腫瘍内科	教授	23年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. <input checked="" type="checkbox"/> 現状
管理責任者氏名	吉川公彦
管理担当者氏名	経営企画課長 高井 克実 病院管理課長 村井 裕司 医療サービス課長 岩本 正彰 医療相談室長兼患者・家族支援室室長 瀬川 直樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課
		各科診療日誌	医療情報部
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	各診療科
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	実績なし
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療情報部 地域医療連携室
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部 経営企画課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理センター
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理センター
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理センター
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理センター

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理室	各種データ（又は帳冊）
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療の質・安全管理センター 医療技術センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療の質・安全管理センター 医療技術センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理センター 医療技術センター			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理センター	各種データ（又は帳冊）
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療の質・安全管理センター	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進室	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課 医療の質・安全管理センター	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課 医療の質・安全管理センター	
		監査委員会の設置状況	病院管理課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理センター	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理センター 病院管理課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談室	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療の質・安全管理センター 人事課	
		職員研修の実施状況	医療の質・安全管理センター	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療の質・安全管理センター 医療技術センター 薬剤部	
管理者が有する権限に関する状況	人事課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務広報課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 吉川 公彦	
閲覧担当者氏名	経営企画課長 高井 克実、医療サービス課長 岩本 正彰、病院管理課長 村井 裕司、医療相談室長 瀬川 直樹	
閲覧の求めに応じる場所	各執務室	
閲覧の手続の概要		
「公立大学法人奈良県立医科大学における個人情報の取扱に関する規程」を準用した開示(閲覧)手続による。		
(診療録等個人情報を含む場合)		
1. 開示(閲覧)請求		
↓		
2. 法人内部での決裁		
↓		
3. 決定		
↓		
4. 開示(閲覧)		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療事故の予防・再発防止対策並びに発生時の適切な対応など、本院における医療安全管理体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とする。</p> <p>主な内容は、 ①医療安全管理体制の構築（医療安全管理委員会及び医療安全推進室の設置、医療安全推進活動、患者相談窓口の設置等） ②院内報告制度の構築 ③職員に対する安全教育・研修 ④医療事故発生時の対応方法の確立 ⑤医療事故の公表等</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： 医療の質・安全管理センターの活動報告及び審議等の承認。</p> <p>主な内容は、 ①医療安全管理に関する重要案件の審議 ②医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関すること ③医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること ④医療事故調査委員会の審議結果を受けた再発防止に向けての検討に関すること ⑤管理委員会で立案された改善策の実施並びに実施状況の調査及び見直し等</p>	
② 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	e-ラーニングのみ
<p>・ 研修の内容（すべて）：6テーマのうち2テーマ以上受講で受講完了</p> <p>合併症・急変時対応-医療安全と医療法6条などから考える-医療安全と臨床倫理-医療紛争に備えるⅡ ヒューマンエラー -コミュニケーションリスクを考える- 死亡診断書の正しい記載の仕方 カリウム製剤使用手順書 予期せぬ急変死亡を防ぐための呼吸数測定的重要性</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①事故報告 院内報告制度の構築、医療事故発生時の対応方法を確立している。 重大なインシデントが発生した時はインシデントホットライン（24時間対応）で医療の質・安全管理センターに連絡が入り医療の質・安全管理センターは病院幹部の情報共有を図る。 発生所属はその後、電子カルテ内のインシデント報告システムにより背景や経緯等詳細を報告。 ②その他 院内全部署あてに、医療機能評価機構が発行する「医療安全情報」を配布する</p>	

とともに、医療の質・安全管理センターで医療安全管理に関する重要事項について「医療安全ニュース」を作成して配信。  
また、インシデント・アクシデントのうち原因の究明が必要な課題や複数の所属が連携して取り組む必要のあるものについては、分析・対策検討会議で関係所属と医療の質・安全管理センターが連携して原因を分析、対策を立案、実行、検証、見直しを行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 院内感染対策に関する基本的考え方、②感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項、③院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針、④感染症の発生状況の報告に関する基本方針、⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針、⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針、⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針等その他感染対策を推進するために必要な基本方針を記載している</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院長、感染管理室長（感染症内科教授）、看護部長、薬剤部長、中央臨床検査部長、病院経営部長、ICD、ICNなど職種横断的に構成しており、委員は21名。毎月1回開催している。また、耐性菌の検出状況や抗菌薬適正使用に係る活動内容及び使用量の状況報告、状況、針刺し事故事例、医療関連感染事例や、従業員に対する研修の実施状況などを定例報告として提示している。</p> <p>本委員会では医療関連感染事例の対応や本指針、感染対策に関するマニュアル等の制定・改廃の承認について等の院内感染対策にかかる事項について、審議および意思決定を行っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年7回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>職員に感染対策として周知・徹底したい知識や情報等をテーマとして、全職員対象に研修を実施している。新型コロナウイルス感染防止の観点からE-learningの受講を推奨しつつ、院外講師を招聘し集合研修を3回行った。開催内容は1回目「忘れてはいけない結核について」、2回目「微生物検査からの感染症診療・感染対策への貢献」、3回目「あの手この手のASP」である。Office365のSharePointを活用し、感染対策関連のコンテンツは4種類（集合研修の内容を含む）、抗菌薬の適正使用に関する内容は2種類、合計6種類のコンテンツをアップロードした。受講対象となる職員にはE-learningの受講を推奨しているが、インターネット環境が整っていない職員を対象に救済措置として動画視聴研修を（集合研修にて）開催することで全職員2回以上受講率100%を継続している。</p> <p>未受講者をなくす取り組みとして、所属長、ICT委員宛とし、定期的に未受講者一覧を配布することで年間2回以上受講するよう啓発を図っている。</p> <p>またこれとは別に、新規採用および中途採用職員には入職時に人事課と協働で研修会（動画視聴またはE-learningにて対応）を開催し、参加できない職員にはOffice365のSharePointを活用したE-learningでの受講にて、当院における感染対策に関する基礎知識の定着と感染対策の推進を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>病院長を含む病院運営協議会のメンバーを中心とした感染防止委員会（ICC委員会）および医師、看護師、コメディカル、事務等の各所属から代表者を選出して構成するICT委員会をそれぞれ月1回開催し、院内における感染症の発生状況やその対策について報告し、周知徹底を行っている。</p> <p>さらに、これらのメンバーを中心としたメーリングリストを作成しており、「感染対策週報」として感染管理室長から毎週メールを配信することにより、当院における感染症発生状況を中心に、県内における感染症発生状況等の情報発信と情報共有を行っている。また、感染管理室員による週2回の環境ラウンド（集中ラウンド・全病棟ラウンド）、抗菌薬ラウンド（毎日）、耐性菌ラウンド（耐性菌検出時）、ICTミーティング（毎日）、ASTミーティング（毎日）など様々な方策で感染対策および抗菌薬適正使用に係る、推進・充実に向けた取り組みを行っている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年21回（同一内容を複数日時で）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>・ 「麻薬事故および麻薬の種類について」</li> <li>・ e-ラーニング             <ul style="list-style-type: none"> <li>①麻薬処方の仕方 ②麻薬注射施用票の書き方 ③自己管理麻薬の注意点</li> <li>④持参麻薬の取扱い ⑤PCAの返却方法 ⑥慢性疼痛に適応が承認されている麻薬</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成（☑・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</li> </ul> <p>医師・看護師、薬剤師のリスクマネージャーに対し、各所属で手順実施状況をチェックリストにより確認し、報告をうけ、チェック内容を確認している</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（☑・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛として小児の使用が保険収載されているオプソ内服液を、小児の非がん患者（先天性表皮水疱症）に対する苦痛（疼痛、呼吸苦）緩和のため使用。総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門から申請があり令和5年11月14日承認された。（使用薬剤：オプソ内服液5mg）0.05mL/回を経口投与。令和5年3月4日から開始したが、現在は投与終了されている。</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 病棟担当薬剤師、調剤室の薬剤師とともに未承認等の医薬品の情報を共有し、新規の申請情報や、既に申請のあった未承認等の医薬品における新規使用患者等の情報を医薬品情報管理係で集約し、未承認等の医薬品の審査を所管する医療安全推進室と情報を共有している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年50回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 新規・中途採用職員研修 17件</p> <p>2. 新規導入機器研修 17件</p> <p>3. 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる機器研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人工心肺、補助循環装置 1件</li> <li>・ 人工呼吸器 8件</li> <li>・ 血液浄化装置 1件</li> <li>・ 除細動器 2件</li> <li>・ 閉鎖式保育器 1件</li> <li>・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 2件</li> <li>・ 診療用放射線照射装置 1件</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>人工心肺関連機器（補助循環装置）人工呼吸器、透析関連機器、除細動器（AED含む）、閉鎖式保育器、電気メス、麻酔器、高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置、CTエックス線装置（医用X線CT装置）磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）の定期点検の実施（生命維持管理装置と放射線装置に関してはメーカーによる点検を実施）</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全推進室とともに、PMDAや日本医療機能評価機構・医療機器センターからの回収情報、インシデント情報、業者からの報告情報を収集し、院内職員への注意喚起、情報共有を行っている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理部門 医療の質・安全管理センターから報告</p> <p>・医療安全管理委員会 同委員会の委員長</p> <p>・医薬品安全管理責任者 医薬品安全管理会議を所管</p> <p>・医療機器安全管理責任者 特定機能病院における医療機器関連の保守点検の計画・実施の報告を行う。医療機器安全管理会議の報告をする</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急性が高いイエローレターやブルーレターの場合には医局長にメール等で連絡し、迅速に周知するようにしている。医薬品・医療機器等安全性情報発出の際も、重大な副作用等を同様に連絡している。また、医薬品情報管理係にて病棟薬剤師からの副作用等の情報を入手、電子カルテデータや医事データからは使用量や査定情報を入手、ヒヤリハット報告などの情報を取得し、必要に応じて医薬品情報管理係よりD I ニュース等で薬剤部から情報を発信する。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟薬剤師や調剤担当の薬剤師が情報を入手時、未承認等の医薬品を使用された医師に未承認新規医薬品等評価委員会を所管する医療の質・安全管理センターへの申請を促し、医薬品情報管理係に情報を集約する。医薬品情報管理係は医療の質・安全管理センターと情報を共有し、審査で承認されたものは病棟薬剤師や調剤係など薬剤部内でも情報共有する。承認されたものについてのモニタリングは医療の質・安全管理センターで行われ、未承認新規医薬品等評価委員会で報告をうけている。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：平成29年7月制定の「インフォームドコンセントマニュアル」で定めた方法により、説明・同意</p>	

書が作成されているかの確認を、月1回開催している同意書等審議委員会において審議している。また、適切に実施されるよう医療従事者への指導等を実施した。  
説明同意書の内容についても、適切であるかの見直しと不備分の再作成を依頼した。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：  
各診療科別に、任意に抽出した患者の診療録の内容をチェックリストに基づき点検を行い、点検結果を診療科にフィードバックした。医局内での周知徹底を依頼した。

【指導内容の主な内容】

- ・退院時要約に関しては、医療機関間での情報共有も念頭に置き記載いただくよう促した。
- ・インフォームドコンセントでは、院内の定型フォーマットの使用を推奨し他の選択肢等についての記載も促した。また、同席者や確認者についても院内フォーマットを作成し記載を行うよう促した。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況 有・無

・所属職員：専従（11）名、専任（ ）名、兼任（2）名  
 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名  
 うち看護師：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- （1） 医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関すること。
- （2） 医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導に関すること。
- （3） 医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。
- （4） 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導に関すること。
- （5） 医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。
- （6） 医療事故等の改善策の実施状況の評価、再発防止に向けての検討に関すること。
- （7） 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。
- （8） 患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整に関すること。
- （9） リスクマネージャーによる医療安全推進活動に関すること。
- （10） 肺血栓塞栓症予防体制の確立に向けた活動に関すること。
- （11） 呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管に関すること。
- （12） 医薬品安全管理に関すること。
- （13） 高度医療の安全管理に関すること。
- （14） 病院倫理委員会の事務に関すること。
- （15） 医療の質向上に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 8 件）、及び許可件数（ 8 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：
  - ・事前に申請診療科より申請概要のヒアリングを実施し、留意事項を伝達、十分な準備を求める
  - ・申請書や説明同意書等の記載文案等について、内容の不備等を検証 必要に応じ改善要請
  - ・評価委員会での審議の後、評価部会議でも再審議を実施 必要に応じ改善要請
  - ・承認後は症例報告や関連部署からの実施（予定）情報等に基づき、モニタリングを実施
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 22 件）、及び許可件数（ 22 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：
  - ・事前に申請診療科より申請概要のヒアリングを実施し、留意事項を伝達、十分な準備を求める
  - ・申請書や説明同意書等の記載文案等について、内容の不備等を検証 必要に応じ改善要請
  - ・評価委員会での審議の後、評価部会議でも再審議を実施 必要に応じ改善要請
  - ・承認後は症例報告や関連部署からの実施（予定）情報等に基づき、モニタリングを実施
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 655 件（令和 5 年度）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

<p>び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年194件(3b以上)</p> <p>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容</p> <p>インシデント、アクシデント報告のうち重大事案について概要及び所属カンファレンスで検討した改善方策について評価・審議し、審議結果を所属にフィードバック。更に、分析・対策検討会議からの再発防止策の立案、実行、検証見直しに関する報告を評価・審議。</p>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <p>・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="checkbox"/>（病院名：金沢大学）・無）</p> <p>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="checkbox"/>（病院名：熊本大学）・無）</p> <p>・技術的助言の実施状況</p> <p>○医師のレポート数を増やしてください。</p> <p>レポートを出す意義を示すなどして意識を変えるための取り組みを実施してください。</p> <p>○合併症報告はより良い医療を行うための義務と伝えて継続してください。</p> <p>○監査委員会は書類だけでなく病院内ラウンドを行い、病院環境の改善に活かしてください。</p>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・体制の確保状況</p> <p>総合相談窓口（医療相談室 相談係）、患者・家族支援室</p>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <p>「合併症・急変時対応-医療安全と医療法6条などから考える-」「医療紛争に備えるⅡ」「ヒューマンエラー -コミュニケーションリスクを考える-」「死亡診断書の正しい記載の仕方」「カリウム製剤使用手順書」「予期せぬ急変死亡を防ぐための呼吸数測定の重要性」の6テーマを設定し、e-ラーニング形式で開催。6テーマのうち、2テーマ以上を受講で受講完了。</p> <p>受講対象者2321名中受講完了者2321名、受講完了率100%（2022年度99.7%）となった。</p>
---

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p>
---

管理者・医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、2023年度特定機能病院管理者研修を受講済。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

機能評価 2022年10月 一般病院3 (3rdG: Ver2.0) 受審

2024年2月に再度確認審査を受審。2025年1月最終確認審査受審予定。

医療安全監査委員会 (外部監査)

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互のピアレビュー実施

・ 評価を踏まえ講じた措置

・ BLS研修・RRS・RRT等について指摘があり、各項目について改善に取り組んでいる。

・ 1回目の委員会での指摘、助言に対して2回目の委員会で措置内容を報告

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人格が高潔であること</li> <li>2 臨床研修等修了医師であること</li> <li>3 医療の安全確保のために必要な資質及び能力を有していること</li> <li>4 人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること</li> <li>5 奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力があり、将来ビジョンを有すること</li> <li>6 組織管理能力等、当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること</li> <li>7 法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献できること</li> <li>8 医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること</li> <li>9 臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学Webサイトに掲載する方法により公表している。 奈良県立医科大学附属病院長選考基準 <a href="https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/byouintyousenkou2023.html">https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/byouintyousenkou2023.html</a></li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学WEBサイトに掲載する方法により公表している。</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
細井 裕司	奈良県立医科大学	○	充職	有 ・ 無
宇都宮 弘和	奈良県立医科大学		充職	有 ・ 無
室 繁郎	奈良県立医科大学		欠員補充 (理事長による指名)	有 ・ 無
石飛 悦子	奈良県立医科大学		充職	有 ・ 無
藤本 清秀	奈良県立医科大学		充職	有 ・ 無
阪上 雅史	兵庫医科大学病院		大学病院管理経験者	有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体の主要な審議内容 医療法施行規則（平成30年厚生労働省令第70号）第9条の23の規定にかかる特定機能病院の管理・運営に関する重要な事項及び病院経営・運営方針等院務に関する重要な事項</li> <li>・ 審議の概要の従業者への周知状況 院内全所属の所属長が委員であるので、所属に持ち帰って周知を行う。 加えて、実務を担当している医局長が参加する医局長会でも、運営協議会での審議内容を議題とすることにより、広く周知を図っている。</li> <li>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/> 無）</li> <li>・ 公表の方法</li> <li>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/> 無）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
吉川 公彦	○	医師	附属病院長
彦惣 俊吾		医師	診療科部長
室 繁郎		医師	副院長・診療科部長
吉治 仁志		医師	診療科部長
笠原 敬		医師	診療科部長・感染管理室長
杉江 和馬		医師	診療科部長
庄 雅之		医師	診療科部長
中川 一郎		医師	診療科部長
細野 光治		医師	診療科部長
田中 康仁		医師	診療科部長
木村 文則		医師	診療科部長
野上 恵嗣		医師	診療科部長
岡田 俊		医師	診療科部長
浅田 秀夫		医師	診療科部長
藤本 清秀		医師	診療科部長
北原 紘		医師	診療科部長
田中 利洋		医師	診療科部長
磯橋 文明		医師	診療科部長
川口 昌彦		医師	副院長・診療科部長
福島 英賢		医師	診療科部長
吉本 清巳		医師	診療科部長

桑原 理充		医師	診療科部長
城戸 顕		医師	診療科部長
吉澤 明彦		医師	診療科部長
濱路 政嗣		医師	診療科部長
鶴屋 和彦		医師	診療科部長
高橋 裕		医師	診療科部長
武田 真幸		医師	診療科部長
松本 雅則		医師	診療科部長
山崎 正晴		医師	中央診療施設の長
玉本 哲郎		医師	中央診療施設の長
四宮 敏章		医師	中央診療施設の長
山岸 正明		医師	中央診療施設の長
丸上 永晃		医師	中央診療施設の長
倉田 主税		臨床検査技師	技師長
森岡 雅幸		診療放射線技師	技師長
畠中 利英		歯科技工士	技師長
池田 和之		薬剤師	薬剤部長
石飛 悦子		看護師	副院長・看護部長
藤田 幸男		医師	栄養管理部長
赤井 靖宏		医師	臨床研修センター長
笠原 正登		医師	臨床研究センター長
辰巳 満俊		医師	副院長・医療安全管理責任者
今村 知明		医師	法人特命企画官
松山 善之		事務	事務局長
西橋 奈穂		事務	病院経営部長
高井 克実		事務	経営企画課長
村井 裕司		事務	病院管理課長
岩本 正彰		事務	医療サービス課長
瀬川 直樹		事務	医療相談室長
上野 聡		事務	法人企画部次長（財務企画課 事務取扱）
古川 義富美		事務	総務広報課長
森田 英之		事務	人事課長
鉄村 仁		事務	新キャンパス・施設マネジメ ント課長
松木 正		事務	情報推進室長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法  
学内専用サイトに掲載して従業者が確認できるように周知している。
- ・ 規程の主な内容

#### 奈良県立医科大学附属病院長職務規程 （職務権限）

第2条 附属病院長は、次の各号に定める職務を行う。

- (1) 病院の経営に関する事
  - (2) 病院の管理運営に関する事
  - (3) 病院の人事に関し、理事長に上申すること
  - (4) 病院職員の資質向上のために必要な研修に関する事
- 2 附属病院長は、病院における全ての業務を総括し、その責任を有する。

#### 公立大学法人奈良県立医科大学会計規程施行細則

- 2 理事長の事務の委任（規程第3条関係）理事長の事務の委任を受ける者、  
範囲及び権限は別表1のとおりとする。 →別表1を添付します。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長：病院長の補佐

事務長：病院長の下、病院事務を統括

院長ガバナンス支援タスクフォース：関係部署による病院長ガバナンス強化のサポート

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

診療情報管理士の資格取得の支援  
法人職員の県派遣実務研修の実施  
国立大学法人の研修に参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理に係る事項を監査し、是正措置を講ずるよう意見具申を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・ 公表の方法：本学ホームページにおいて一般に公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学	○	和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進室長であり、医療にかかる安全に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
加藤 高志	加藤高志法律事務所		医療に関する訴訟経験が豊富であり、法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
森下 順子	ボランティアグループ		病院の状況への理解が深く、医療を受ける側の立場からの客観的意見を得られるため。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容  
書面により会計等に係る監査を実施
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  )
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</li> </ul> <p>役員会では、附属病院の予算決算等の管理運営に関する審議事項があり、理事長（開設者）が病院業務に関与して監督している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議体の実施状況（ 年45回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年45回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input type="checkbox"/> ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
<p>病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：</p>			
<p>会議体の委員名簿</p>			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 窓口の公表</li></ul>

公立大学法人奈良県立医科大学会計規程施行細則  
別表1 事務委任の範囲等(「3 会計管理者」関係)

支出		権限区分							摘要
		理事長	会計管理部門			執行部門			
項目	経費の種類		会計管理者 (総務・経営担当理事)	会計管理者の一部事務受任者 (法人企画部長)	会計管理者の一部事務委任者 統括会計員 (財務企画課長)	予算責任者 (総務・経営担当理事) (教育・研究担当理事) (医療担当理事)	統括経理責任者 (法人企画部長) (病院経営部長)	経理責任者 (各課・室長等)	
予算執行承認権限 (購入依頼書又は事業執行伺書等)	備品(工具・器具及び備品、備品費など)	法人の運営・経営に重大な影響を及ぼす執行など会計管理者が理事長の承認を必要と判断する場合	5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満	1. 公立大学法人奈良県立医科大学契約規程第22条第1号及び第7号の規定に基づき、随意契約しようとする場合にあっては、支出契約と併せて予算執行承認を行うことを可とする。(細則18(1)) 2. 予算責任者及び統括経理責任者で承認されるものについては、統括会計員の確認が必要
	施設・設備整備(修繕に属するものを除く)		5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満	
	報酬謝金費、報償金、報償金、食糧費、交際費、補助金、助成金		100万円以上	○	30万円以上100万円未満	30万円以上100万円未満	30万円以上100万円未満	30万円未満	
	寄附、賠償		すべて	○	○	○	○	○	
	人件費		すべて	○	○	○	○	○	
	資金運用(有価証券の取得等)		すべて	○	○	○	○	○	
その他の支出		5,000万円以上	1,000万円以上5,000万円未満	100万円以上1,000万円未満	500万円以上1,000万円未満	100万円以上500万円未満	100万円未満		
支出契約決議承認権限 (支出契約決議書等)	備品・施設整備	-	-	-	100万円以上	-	100万円以上1,000万円未満	100万円未満	経理責任者に承認権限のあるものについては、簡易な方法により支出契約決議の承認を行うことを可とする。(細則19(3))
	上記以外全て	-	-	-	100万円以上	-	100万円以上1,000万円未満	100万円未満	
債務確認等承認権限 (債務計上一覧表、経費精算書、立替経費精算書、仮払申請書、仮払精算書、予算執行振替伝票)	すべて	-	-	-	すべて	-	-	○	

(注1) 単価契約については、予定単価に執行見込み件数を乗じて算出される金額を持って承認権限を区分する。

(注2) 複数年契約については、1力年の価格ではなく、契約期間総額を持って承認権限を区分する。

(注3) 予算執行の承認権限は、執行価格ではなく、予定価格を持って区分する。

(注4) 軽微なものについては、公立大学法人奈良県立医科大学事務決裁規程第5条に規定する代決者が、上記に記載するそれぞれの承認権限者から委任を受け代理で承認することができるものとする。この場合あらかじめ承認権限者と代決者が委任する範囲を協議しておくこと。

収入		権限区分							摘要
		理事長	会計管理部門			執行部門			
項目	経費の種類		会計管理者 (総務・経営担当理事)	会計管理者の一部事務受任者 (法人企画部長)	会計管理者の一部事務委任者 統括会計員 (財務企画課長)	予算責任者 (総務・経営担当理事) (教育・研究担当理事) (医療担当理事)	統括経理責任者 (法人企画部長) (病院経営部長)	経理責任者 (各課・室長等)	
債権発生の前提となる契約、申出の受諾、申請等の承認	寄附金	○	○	○	○	○	○	○	
	寄附金以外全て (理事長名で契約等を行う場合)	-	すべて	○	○	○	○	○	
	寄附金以外全て (予算責任者名で契約等を行う場合)	-	-	-	○	統括経理責任者が必要と判断する場合	○	○	1,000万円未満で、予算責任者名での契約等が可能なもの
債権の計上、入金の確認 (債権計上一覧表、(予算執行)振替伝票、入金実績リスト処理分)	授業料(自動引落分)、診療収入など(振替伝票処理分)	-	-	-	すべて	-	-	○	
	上記以外全て (債権計上一覧表、入金実績リスト処理分)	-	-	-	すべて	-	-	○	